

第3章 駒林遺跡第5地点の本調査

I 遺跡の立地と環境

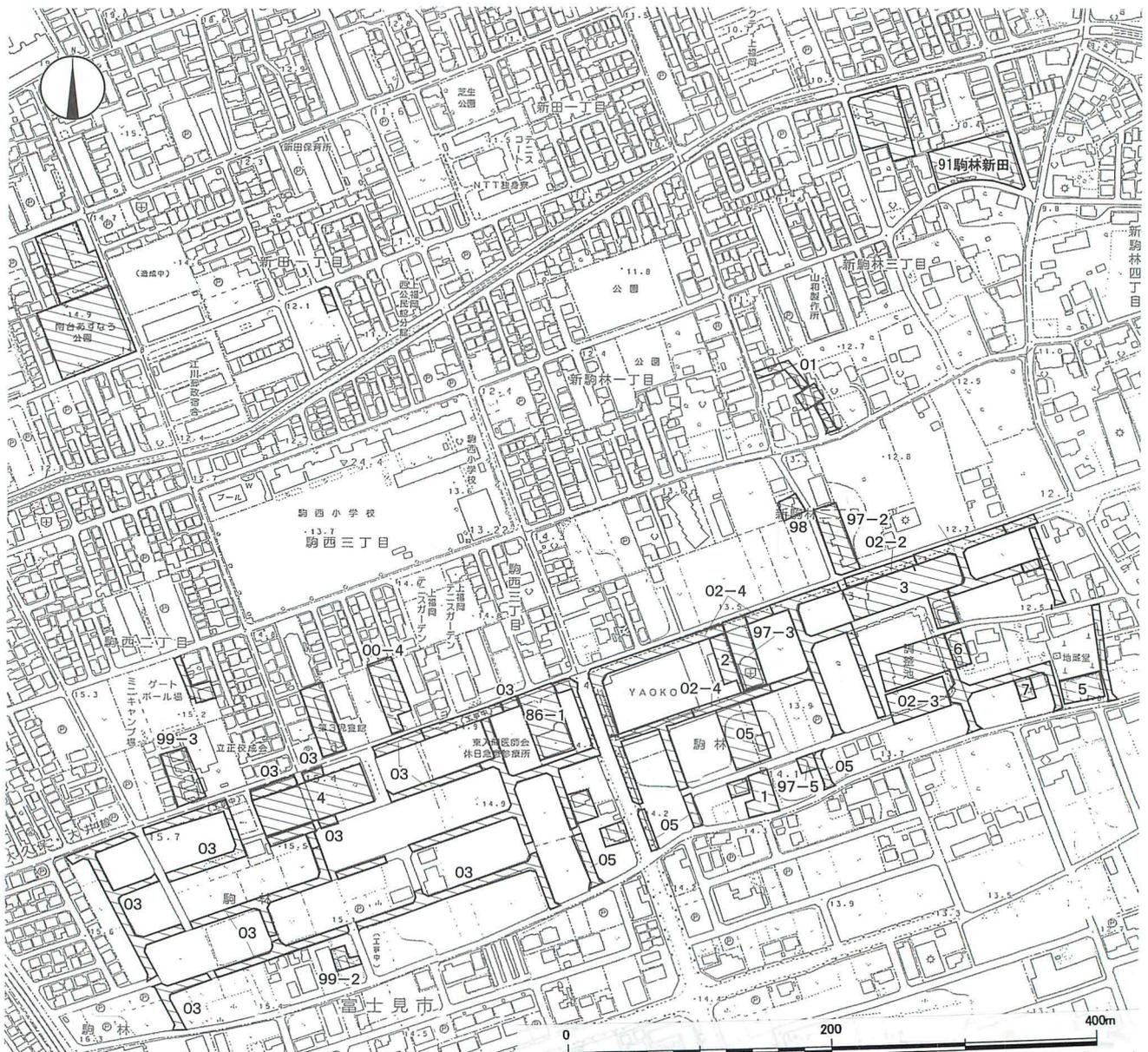
駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高12～15m前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北300m、東西800mの広大な範囲であったが、2002年から2004年にかけて行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大半の地域で遺構を確認できなかったため、大溝を検出した南北160m、東西80mの範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として2004年3月に追加した。

しかし、今回第3地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺140

～160mの台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、北側にある葦石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側にある地下式坑を検出した駒林新田前遺跡を統合して駒林とし、2008年2月に遺跡範囲の変更増補を行った。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、500m下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。

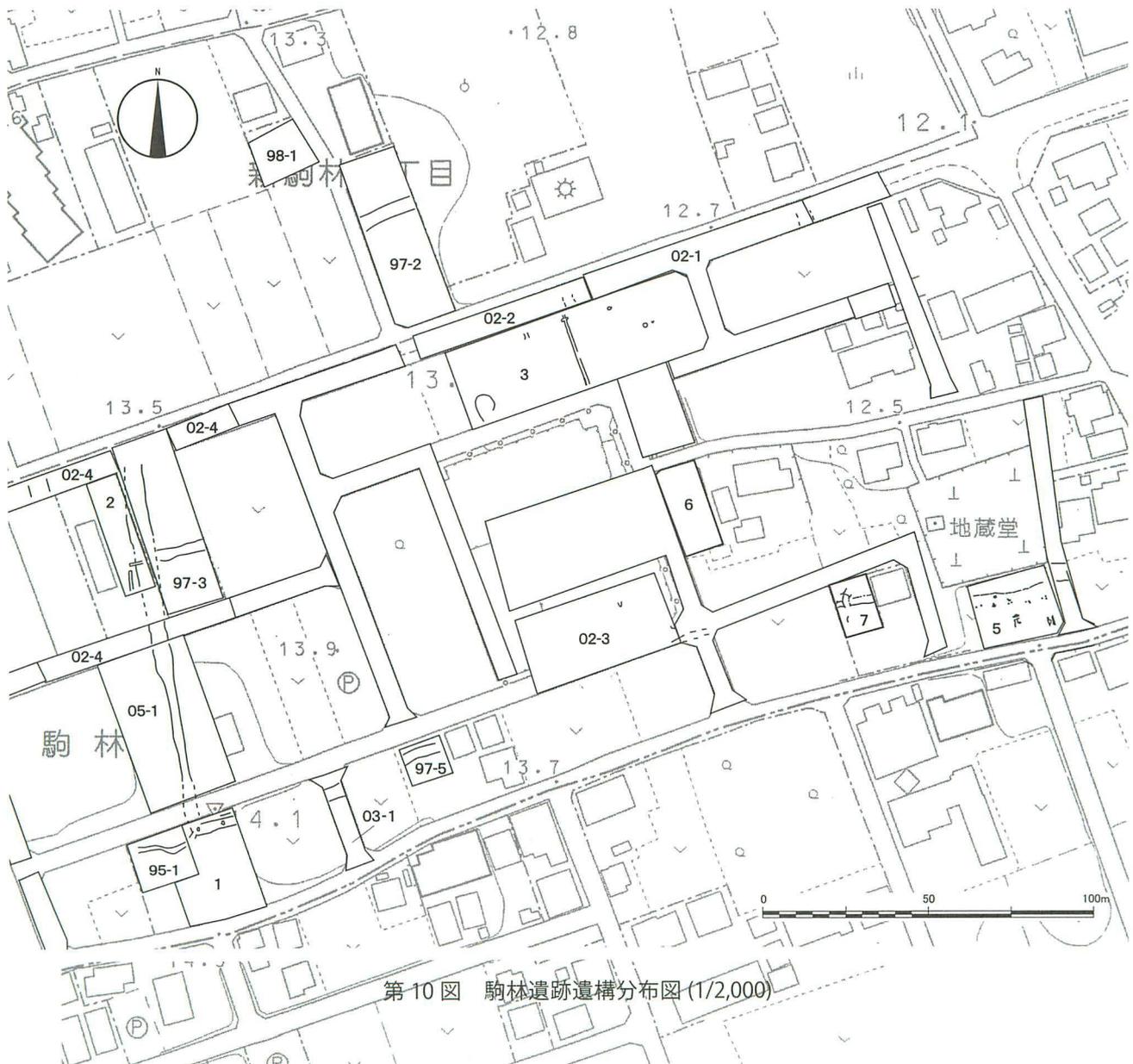
2002年以降の試掘調査の結果、幅4.2m、深さ1.7mの大溝や茶毘跡を検出する。周辺の遺跡の様相から遺跡の時期は中世から近世と思われる。



第9図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第4表 駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	駒林字南原 353,354	1986.8.13～25	1536	範囲確認調査	平安土器散布他	埋蔵文化財の調査 (IX)
1992年度試掘(1)	大字駒林字南原 341	(1992.9.16～18)	987	共同住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(15)
1995年度試掘(1)	駒林字新田前 271-2	(1995.11.8～24)	231	個人住宅建設	溝1	埋蔵文化財の調査(18)
1996年度試掘(1)	駒林本町 153-3,4	(1996.6.10～13)	231	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(19)
1997年度試掘(1)	駒林字新田前 266-2	(1997.5.8～12)	132	個人住宅建設	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1997年度試掘(2)	駒林字新田前 223	(1997.5.9～15)	991	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1997年度試掘(3)	駒林字新田前 291-1,2	(1997.10.6～17)	991	診療所建設	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1998年度試掘(1)	駒林字新田前 312	(1998.8.10)	234	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(21)
1999年度試掘(1)	駒林字南原 424-2の一部,20の一部,23	(1999.4.9)	330	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(22)
1999年度試掘(2)	駒林字南原 394-2	(1999.5.25)	125	個人住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(22)
1999年度試掘(3)	駒林字南原 420-1	(1999.7.1)	1322	礼拝堂(道場)建設	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(22)
2000年度試掘(1)	駒林字南原 344-2	(2000.1.18～20)	785	共同住宅建設	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(22)
2002年度試掘(1)	駒林字新田前 238,240～242-1の一部	(2002.6.3～21)	650	区画整理	溝8、土坑7、地下式坑1	埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(2)	駒林字新田前 243～245	(2002.8.9～30)	275	区画整理		埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(3)	駒林字新田前 262-1,263,264の一部	(2002.8.30～9.19)	1120	区画整理		埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(4)	駒林字新田前 280～282,2,290,292-1～298	(2002.11.11～27)	1150	区画整理		埋蔵文化財の調査(25)
2003年度試掘(1)	駒林字新田前 263,273,275(字新田前)	(2003.5.16～21)	558	区画整理	溝1	埋蔵文化財の調査(26)
2003年度試掘(2)	駒林字南原 364外41筆の一部(字南原)	(2003.4.25～12.22)	7278	区画整理	なし	埋蔵文化財の調査(26)
2003年度試掘(3)	駒林字南原 409,410の一部(字南原)	(2004.1.21)	292		なし	15年度教育要覧
2004年度試掘(1)	駒林字新田前 281	(2006.1.7～24)	1487	範囲確認調査	溝1	埋蔵文化財の調査(27)
1	駒林土地区画整理事業地内 20街区 4,8,9	2006.7.13～28	646	共同住宅建設	堀跡、茶毘跡2(中世)	市内遺跡群3
2	駒林土地区画整理事業地内 17街区 7,8の一部	2006.11.21～29	421	専用住宅建設	堀跡	市内遺跡群3
3	駒林土地区画整理事業地内 21街区 3,4の一部	2006.11.30～12.18	1916	店舗建設	近世遺構	市内遺跡群3
4	駒林B地区 7街区 3,4	(2007.6.11～13)	1866	共同住宅建設	土坑1(縄文)	市内遺跡群4
5	大字駒林字新田前 256(仮換地指定 30街区 2)	(2008. 4. 9～16) 2008. 5. 30～6. 28	509	分譲住宅建設	集石土坑3(縄文)、堀跡、溝、地下式坑1、竪穴土坑26、柵列1(中世以降)	市内遺跡群5
6	大字駒林字新田前 248-2(仮換地1街区 27符号1)	2008. 8. 27	257	個人住宅建設	なし	未報告
7	駒林土地区画整理事業地内 28街区 5画地	(2008. 2. 3) 2008. 2. 4～5	152	個人住宅建設	堀跡、溝	未報告



第10図 駒林遺跡遺構分布図(1/2,000)

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年5月19日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南西端に立地し、隣接地では地下式坑や溝を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

2008年4月9日から16日まで行なった試掘調査の結果、多数の遺構を検出したので、再協議したが、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。市教育委員会は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で、2008年5月30日から同年6月28日まで本調査を行なった。

調査は遺構を確認した範囲の表土を重機により除去し、人力による表面精査で遺構範囲を確認した。遺構調査は人力で覆土を除去しつつ出土遺物を残し、土層図・遺構平面図・調査区域図の平板測量と写真撮影を行い調査を終了した。検出した遺構は縄文時代の集石土坑3基、中世以降の溝跡3条、地下式坑1基、竪穴土坑25基、土坑3基、柵列1列、ピットである。

III 遺構と遺物

(1) 集石土坑

調査区中央に3基が集中する。

① 集石土坑 1

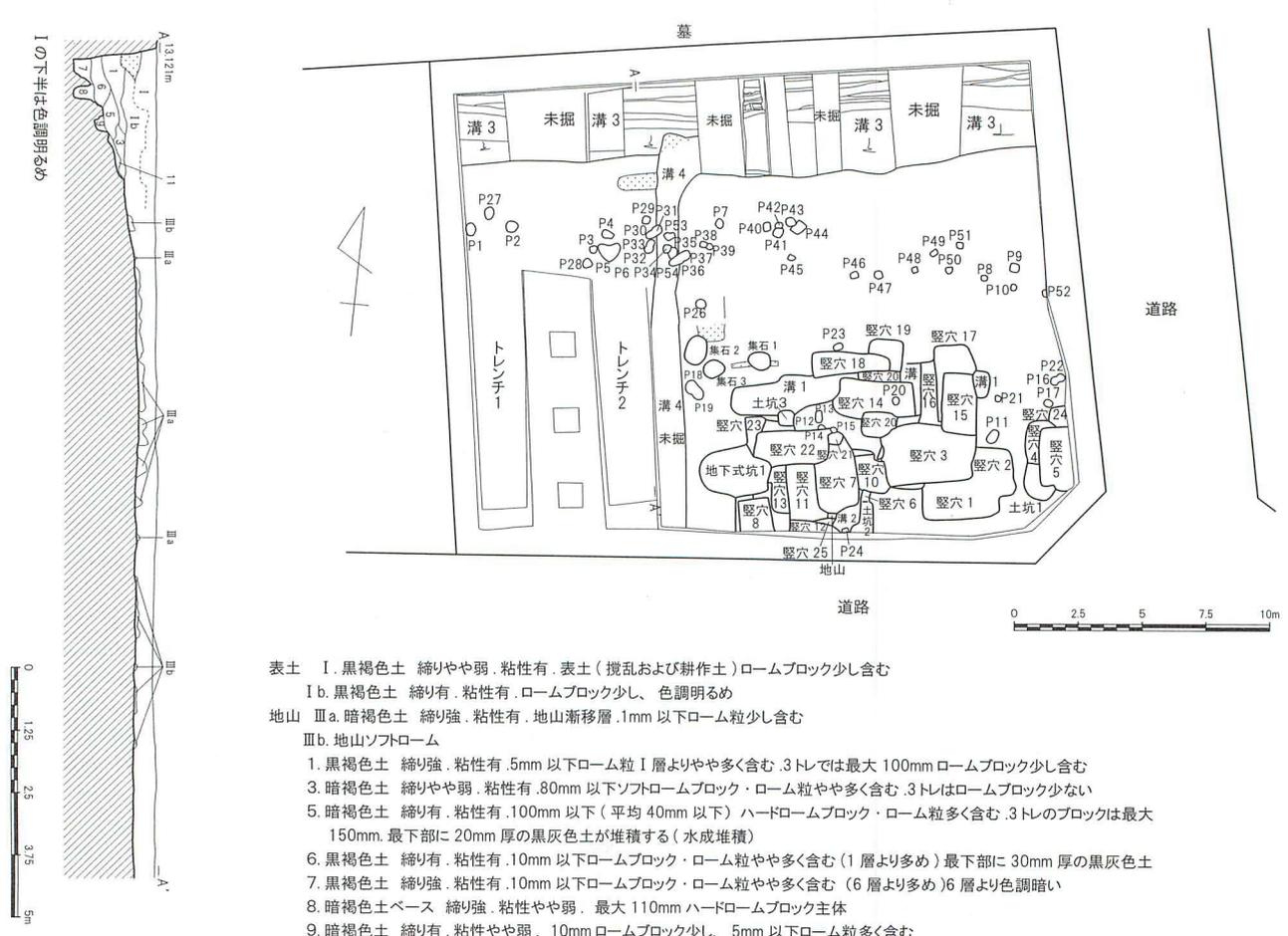
完形礫が比較的多く密集して出土する。南側に礫が少ないのは、攪乱のためである。30×7cm大の炭化材が1層より出土した。出土炭化材2点で放射性炭素による年代測定を行ったところ、4470±40yrBP(No.1)、4500±40yrBP(No.2)の結果を得た。縄文時代中期前葉に相当する。(附編参照)

② 集石土坑 2

完形礫が多く密集して出土する。炭化材が1層底より出土した。出土炭化材1点で放射性炭素による年代測定を行ったところ、4530±40yrBPの結果を得た。縄文時代中期前葉に相当する。(附編参照)

③ 集石土坑 3

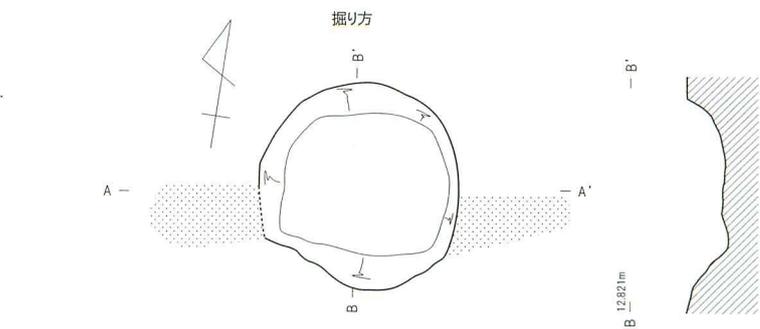
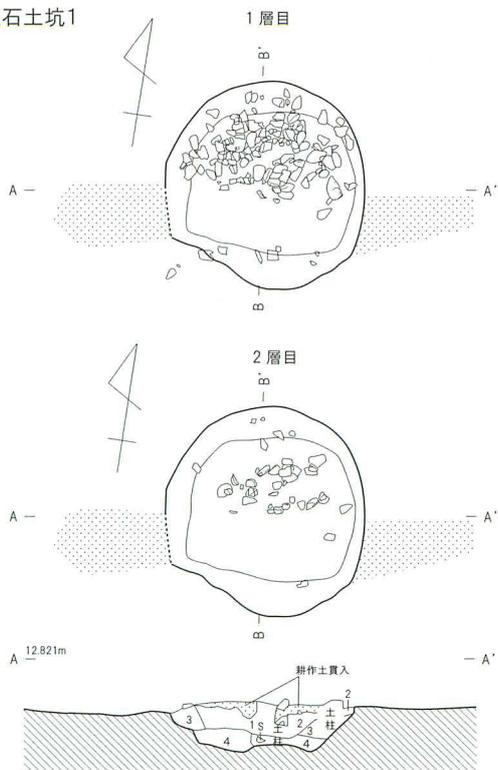
破損した礫が散在する程度である。後世の掘り込みの可能性がある。



- 表土 I. 黒褐色土 締りやや弱. 粘性有. 表土(攪乱および耕作土)ロームブロック少し含む
 I b. 黒褐色土 締りやや弱. 粘性有. ロームブロック少し. 色調明るめ
 地山 III a. 暗褐色土 締り強. 粘性有. 地山漸移層. 1mm以下ローム粒少し含む
 III b. 地山ソフトローム
 1. 黒褐色土 締り強. 粘性有. 5mm以下ローム粒I層よりやや多く含む. 3トレでは最大100mmロームブロック少し含む
 3. 暗褐色土 締りやや弱. 粘性有. 80mm以下ソフトロームブロック・ローム粒やや多く含む. 3トレはロームブロック少ない
 5. 暗褐色土 締り有. 粘性有. 100mm以下(平均40mm以下)ハードロームブロック・ローム粒多く含む. 3トレのブロックは最大150mm. 最下部に20mm厚の黒灰色土が堆積する(水成堆積)
 6. 黒褐色土 締り有. 粘性有. 10mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む(1層より多め)最下部に30mm厚の黒灰色土
 7. 黒褐色土 締り強. 粘性有. 10mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む(6層より多め)6層より色調暗い
 8. 暗褐色土ベース 締り強. 粘性やや弱. 最大110mmハードロームブロック主体
 9. 暗褐色土 締り有. 粘性やや弱. 10mmロームブロック少し. 5mm以下ローム粒多く含む

第11図 駒林遺跡第5地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)

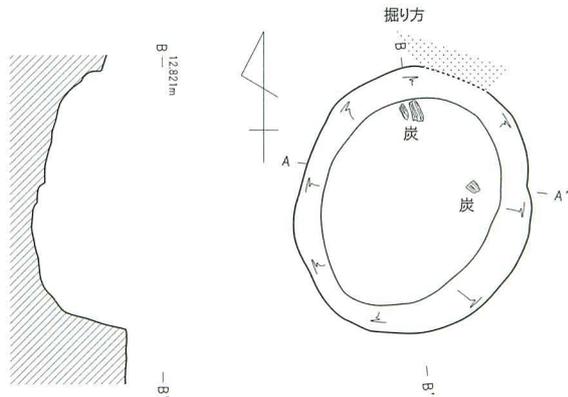
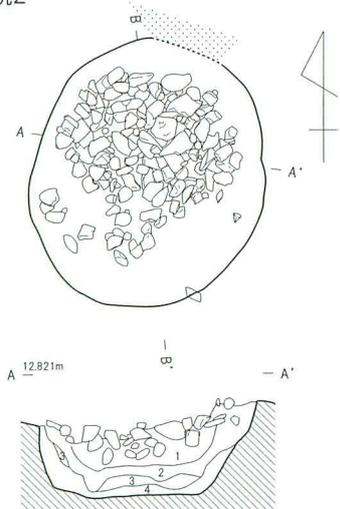
集石土坑1



集石土坑 1

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、上面にのみ礫を多く含む炭化物やや多く、2mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む 炭化物を含まず、1層より色調明るい
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状の黒褐色土少し、2mm 以下炭化物わずかに含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ソフトロームブロック多く、2mm 以下炭化物わずかに含む

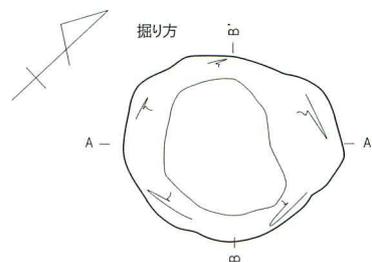
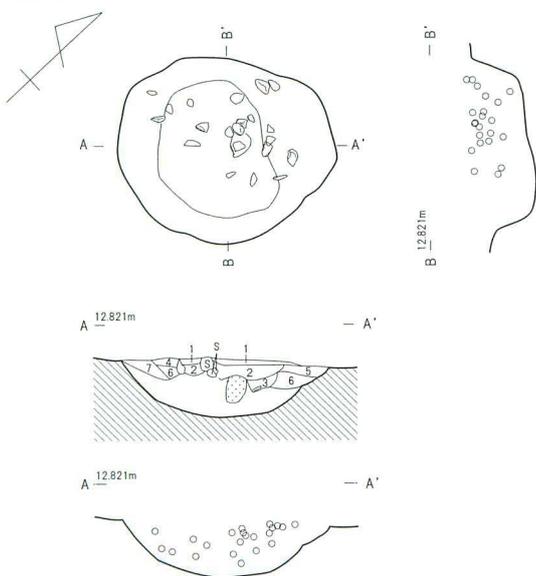
集石土坑2



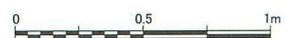
集石土坑 2

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、.1mm 以下ソフトローム粒少し、20mm 大炭化物わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、.5mm ソフトローム粒少し、シミ状の黒褐色土やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、.20mm 以下ローム土やや多く含む、5mm 以下ローム粒少し含む
4. 黄褐色土 締り強、粘性有、シミ状に暗褐色土が貫入するが、地山扱い

集石土坑3



1. 黒褐色土 締り有、粘性有、.5mm 大ローム粒少し含む、灰色味がある
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、.5mm 以下ソフトローム粒少し含む、.1層より色調暗い
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、.2mm 以下ローム粒やや多く、10mm ロームブロックわずかに含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、漸移層土主体
5. 暗黄褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、.4層土ベース、.2mm 以下ローム粒やや多く含む、色調明るい、5mm ロームブロックわずかに含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、.2mm 以下ローム粒やや多く含む



第12図 駒林遺跡第5地点集石土坑1～3(1/30)

(2) 地下式坑

調査時に竪穴状の深い土坑を全て地下式坑としてカウントしたが、本報告を行うに当たり、地下式坑の定義である「地平面化に竪坑を掘り下げてこれを入り口部とし、その底面から横へ掘り抜けて本体である地下室を築いた遺構」(中田 1977、江崎 1985) 注 1 に従い、竪坑と天井が確認できた 9 号遺構のみ地下式坑として扱い、他は竪穴土坑として報告する。

遺構番号は 9 号地下式坑を 1 号地下式坑とし、竪穴土坑に名称変更した遺構は遺構名のみ竪穴土坑に変え、番号はそのまま踏襲した。従って、9 号竪穴土坑は欠番となる。

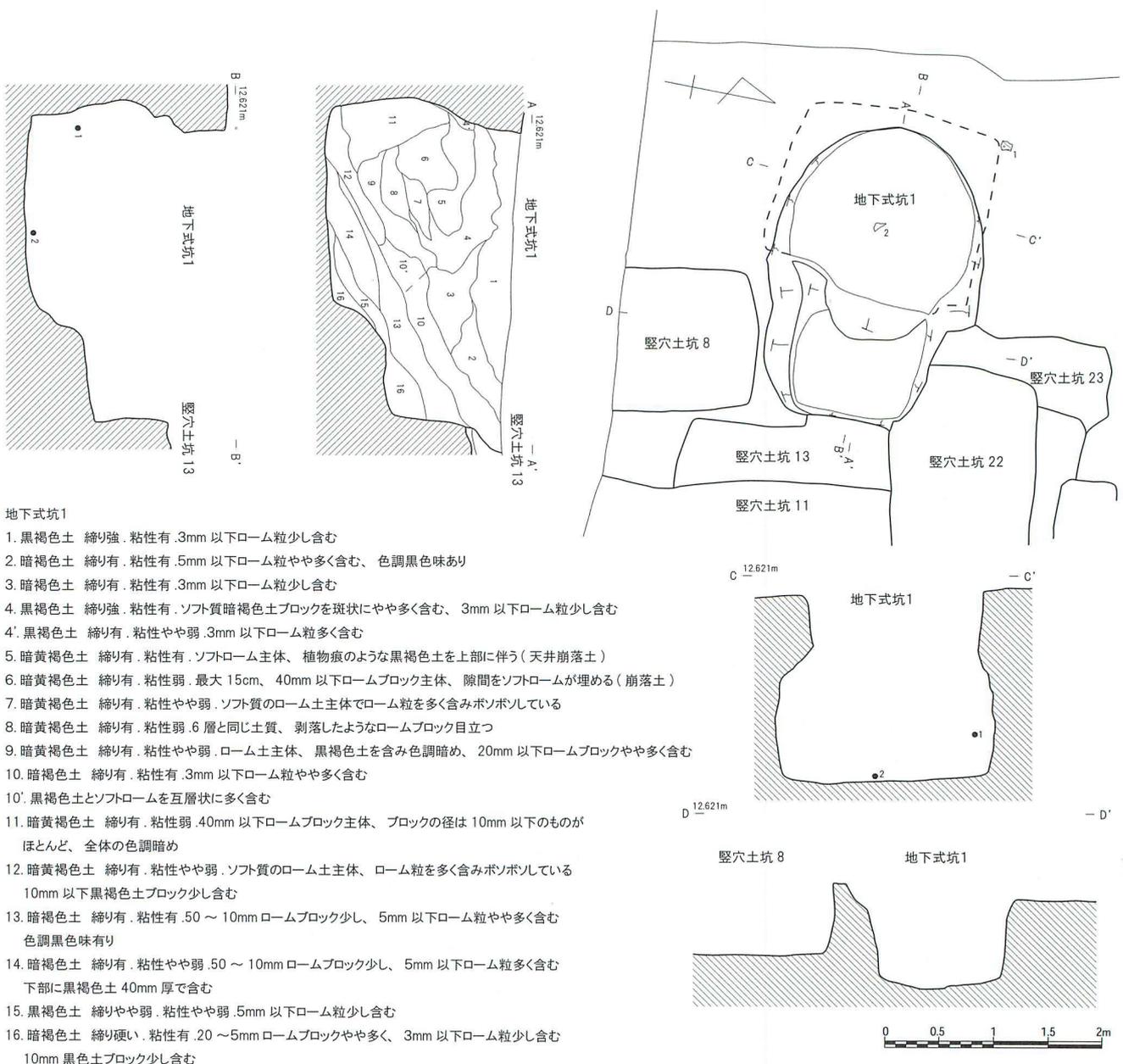
① 1 号地下式坑

調査区南側中央に位置し、竪坑を東側室部を西側にもつ。背後(西側)に溝 4 がある。竪坑の平面は方形で、ほぼ垂直の壁である。竪坑から室部へは 50cm の段差がある。室部の平面形も方形で、壁は垂直にたちあがるが、床面から 90 ~ 100cm の高さでカーブし、オーバーハングする。覆土中にはロームブロックが厚く堆積する。オーバーハングする壁とロームブロックの堆積から天井が崩落した跡と考えられる。

竪穴土坑群と重複し、古い。

出土遺物は縄文土器のほか、内耳鍋、土釜の破片が出土している。出土遺物から時期は 15 世紀。

注 1 「地下式坑」についても「地下式坑」ではなく「地下式坑」と総称すべきであるとされている(谷口 2009)



第 13 図 駒林遺跡第 5 地点地下式坑 1 (1/60)

(3) 竪穴土坑

調査区南西部、溝4に囲われた範囲内に集中する。計26基検出した。平面形は長方形、壁は垂直、底面も平坦である。長さ125～365cm×幅105～233cm×深さ30～108cmで、平均値は長さ261cm×幅148cm×深さ69cmである。長軸は東西、南北でそろっている。覆土はロームの多い暗褐色土や黒褐色土で、締りがある。一気に埋めた様相を呈する土坑が多い。

出土遺物は2号竪穴土坑から常滑産鉢破片が、8号竪穴土坑から近世遺物が出土している。また、20号と8号から出土した在地の鉢は1号溝出土の破片と接合している。

(4) 土坑

土坑2は竪穴土坑より古い。

(5) 溝

調査区東側、東西方向に位置する。

①溝1

長さ10m弱で溝とするには短い。断面形態から判断し、溝として報告する。竪穴土坑より新しい。

②溝2

検出はわずかであるが、断面形態がU字形で、土坑とは異なる。

③溝3

墓地の南側で東西方向の大溝である。溝の掘り返しがあり、溝が重複する。後から掘り返されている溝は断面長方形で、「根切り溝」状の様相を呈する。溝の延長線上である第6地点や第1地点まで東西方向に続く溝跡と同一遺構の可能性はある。溝は第1地点で北へ直角に曲がり、第2地点まで100m以上続く。

④溝4

調査区南東部に位置し、地下式坑と竪穴土坑群を囲う形で南北15m、東西14mにわたって検出した。北側は溝3と重複し根切り溝より古い。

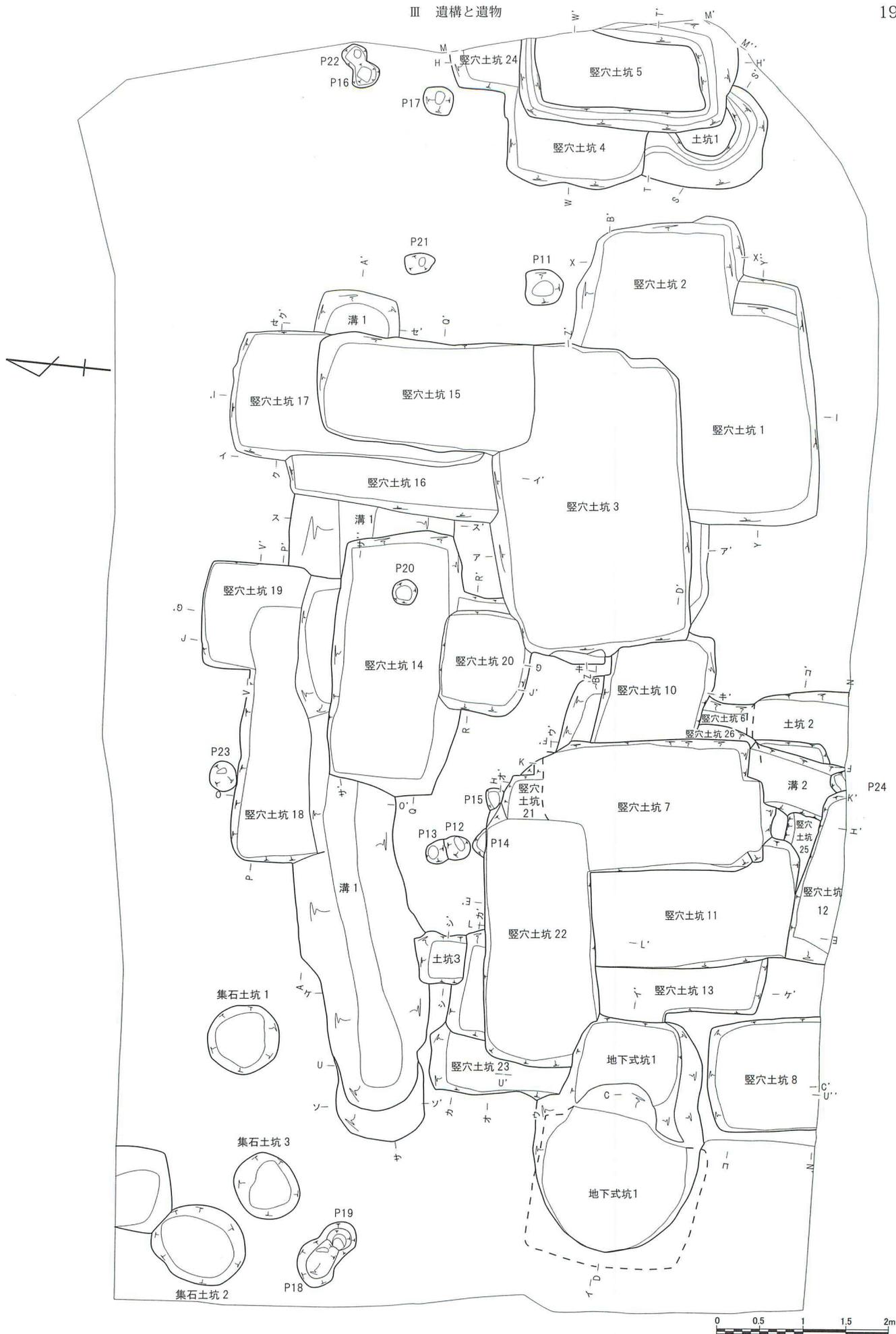
第5表 駒林遺跡第5地点遺構一覧表① (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝1	直線974cm。断面ゆるいV字形。	95～150	30～72	60～79	竪穴群より新
溝2	断面V字形(120)	70	52	54	竪穴群より旧
溝3	長22.5m～	(410)～	65～(30)	108	墓の南側、もとは駒林の堀跡と連なる一連の大溝か？根切り溝となっている。
溝4	L字(未堀)	95～155	75～30	12～34	竪穴土坑群を区画する東西～南北の溝
地下式坑1	室部 方形 竪坑 方形	全長 293×193 竪坑 128×114	室部 194×180 竪坑 110×90	室部 182 竪坑 116	天井の痕跡有り。ロームブロック堆積。竪13・22より旧。土釜・内耳鍋出土。旧竪穴9
竪穴1	長方形	291～150	232～120	41	竪穴2より新
竪穴2	長方形	274～176	250～155	40	竪穴3より新、竪穴1より旧。竪穴3の上層にある不明遺構(SPBのa b層)より新。常滑鉢出土
竪穴3	長方形	365～233	355～205	107	竪穴1・2・10・15より旧
竪穴4	長方形	(200)～160	(200)～155	81	竪穴5・24より新
竪穴5	長方形	253～135	190～80	92	竪穴4、竪穴24より旧。土坑1との新旧は不明
竪穴6	(長方形)	(215)～(90)	(195)～(65)	39	竪穴10・7・21・26より新
竪穴7	長方形	247～163	(233)～152	81	竪穴10より新。竪穴6・21・26より旧
竪穴8	(長方形)	(130)～135	(120)～125	90	在り鉢・近世陶磁出土
竪穴10	(長方形)	(132)～122	(122)～108	74	竪穴6・7より旧
竪穴11	長方形	240～140	235～128	67	竪穴13・21より旧、竪穴2より新
竪穴12	(長方形)	205～(50)	180～(45)	70	竪穴25より旧
竪穴13	(長方形)	(192)～(65)	(186)～(55)	30	竪穴9より旧、竪穴11より新
竪穴14	(長方形)	315～152	282～113	84	竪穴20より新、溝1より旧
竪穴15	長方形	(251)～129	(246)～122	108	竪穴16・3より新、溝1より旧
竪穴16	(長方形)	(240)～(62)	(230)～(66)	62	竪穴17より新、竪穴15、溝1より旧
竪穴17	長方形	295～154	(270)～137	82	竪穴15・16、溝1より旧
竪穴18	長方形	302～(100)	(290)～(90)	55	竪穴19より新
竪穴19	方形	130～117	118～112	50	竪穴18より新
竪穴20	長方形	263～172	245～130	78	竪穴18より新、竪穴14、溝1より旧。在り鉢出土
竪穴21	長方形	315～105	294～87	84	竪穴11・7より新、竪穴26より旧
竪穴22	長方形	295～135	285～127	97	竪穴23とは新旧不明、竪穴11より旧
竪穴23	長方形	(165)～(67)	(143)～(59)	51	竪穴22とは新旧不明
竪穴24		(87)～(57)	(69)～(53)	77	竪穴5より新、竪穴4より旧
竪穴25		—～(35)	(81)～(30)	34	竪穴12より新、竪穴11より旧
竪穴26		(180)～			竪穴21より新、竪穴6より旧
竪穴27		125～(45)	100～(24)	50	竪穴23

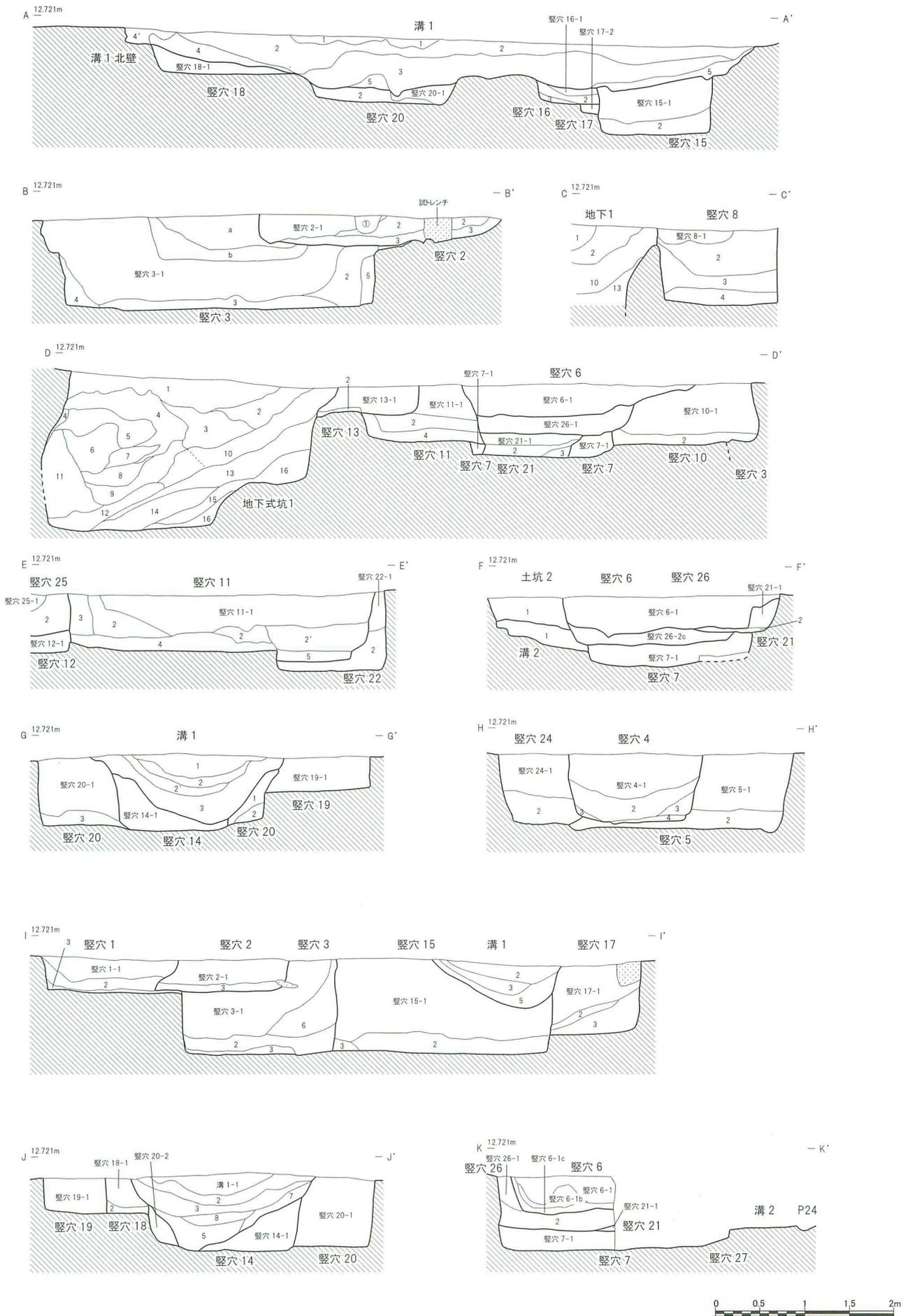
第6表 駒林遺跡第5地点集石土坑一覧表

(単位cm、g)

No	平面形態	土坑確認面	底面	深さ	礫範囲	礫数	重量(g)	平均重量(g)	完形礫		赤化		スス付着		備考
									個数	重量	個数	重量	個数	重量	
1	円形	82×78	64×57	17	70×70	275	6,839	25	17	1,716	0	0	16	1,527	南側は後世の擾乱を受ける。30×7cm大の炭化材出土。礫密集。
2	楕円形	105×90	81×67	37	77×73	624	57,167	92	57	11,886	104	11,295	53	7,686	5～10cm大の炭化材出土。プラン確認時に一部削平。礫密集。
3	楕円形	85×74	55×42	25	65×42	20	1,482	74	2	170	0	0	3	197	炭化材、焼土なし。後世の掘り込みか。



第 14 図 駒林遺跡第 5 地点竖穴土坑 (1/60)



第15図 駒林遺跡第5地点竪穴土坑土層図(1/60)

地下式坑1 D-D' 土説は第13図参照

竪穴土坑1 I-I'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、.5mm以下ローム粒少し、.40mm大ロームブロックわずかに含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、.5mm以下ローム粒やや多く含む、色調明るめ
3. 黄褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体、ハードブロック少し含む

竪穴土坑2 B-B'

- ①. 暗褐色土 締り有、粘性有、.25～5mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、.3mm以下ローム粒少し、10～5mmロームブロック少し含む
2. 暗褐色土 締り有、粘り有、.3mm以下ローム粒少し、10～5mmロームブロック少し含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、.3mm以下ローム粒少し(1層より少ない)、10mm大ロームブロック少し含む
- a. 暗褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒少し含む
- b. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm以下ロームブロック・粒やや多く、5mm大黒褐色土ブロック少し含む

竪穴土坑3 B-B'・I-I'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、.5mm以下ローム粒多く、20～10mmロームブロックやや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、.5mm以下ローム粒やや多く含む、一層より暗め、
3. 暗褐色土 締り硬化、粘性有、.5mm以下ローム粒多く10mm大ロームブロックやや多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、.30mm以下黒褐色土ブロックをやや多く含む、色調暗め、.30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、.50～10mmロームブロックやや多く、5mm以下ローム粒多く含む
6. 暗褐色土 締り有、粘性有、.20～10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む、2層より明るめ、1層より粘性弱めで色調暗め

竪穴土坑4 M-M'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、.30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、.15～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む、1層より色調暗い
3. 暗褐色土 締り有、粘性有、.10～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、最大80mm、平均10～5mmロームブロックやや多く、2mm以下ローム粒少し含む

竪穴土坑5 M-M'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、.30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む(竪4-1層より多め) 竪4-1層と比べ色調黒味強い
2. 黒褐色土 締り強い、粘性有、最大80～60mm平均20～5mmロームブロック多く、3mm以下ローム粒やや多く含む

竪穴土坑6 F-F'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、.30～10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒多く含む
- 1b. 暗褐色土 締り強、粘性有、.30～10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む
- 1c. 暗褐色土 締り強い、粘性有、.10mm大ロームブロック少し、5mm以下ローム粒多く含む、中間に1cm厚黒褐色土の間層挟む

竪穴土坑7 F-F'

1. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、.70～5mmロームブロック多く含む、.10mm大黒褐色土ブロック少し含む、ローム粒やや多く含む

竪穴土坑8 C-C'

1. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、.10～5mmロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く含む
2. 暗褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、.30～5mmロームブロック主体、ローム粒も多く含む全体の色調明るい、しみ状の黒褐色土少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、.20～5mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒も多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、.40～5mmロームブロック多く、しみ状や10mm大黒褐色土少し含む

竪穴土坑10 D-D'

1. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、.30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒多く含む、.60～10mm黒褐色土ブロック少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、.40～10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む

竪穴土坑11 E-E'

1. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、.40～5mmロームブロックと3mm以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、.5mm以下ローム粒多く、50～10mmロームブロック少し含む
- 2'. 暗褐色土 締り強、粘性有、最大60mm平均30～10mmロームブロック多く、5mm以下ローム粒やや多く含む、2層と比べロームブロック径大きい点で背面の「L-L'」とは異なる
3. 暗褐色土 締り有、粘性有、.3mm以下ローム粒多く、20～5mmロームブロック少し、色調黒味あり
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、.20～10mmロームブロック、5mm以下ローム粒やや多く含む、.100～40mm大型のロームブロックやや多く含む、色調黒味あり
5. (L-L')暗褐色土 締り強い、粘性有、地22-2層に似た土が締り強くなったもの、30～5mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む、ベースの土は黒褐色土多く含む、北壁際はボソボソしている

竪穴土坑12 E-E'・N-N'

1. 暗褐色土 締り強、粘性弱、しみ状の黒褐色土ブロックをやや多く含む、色調黒味あり、最大70mm・平均30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、最大30mm平均10～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く、10～5mm黒褐色土ブロック少し含む

竪穴土坑13 D-D'

1. 暗褐色土 締り強い、粘性有、.10mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、.5mm大ロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや

多く含む、.3mm大黒褐色土粒少し含む

竪穴土坑14 G-G'・J-J'

1. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、平均10～5mmロームブロック多く、3mm以下ローム粒やや多い、竪穴土坑20-1層より色調暗め、但しJ-J'については北側10～5mm大、色調暗め

竪穴土坑15 A-A'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、.50～5mmロームブロック多く、3mm以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、.20～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む、1層より色調暗い
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、含有物は2層と同じ、色調暗い

竪穴土坑16 A-A'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、.70～5mmソフト質ロームを多く、5mm以下黒褐色土粒少し含む
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、しみ状の黒褐色土多く含む、30mm厚ソフトロームを間層として挟む、.40～10mmハードロームブロック少し含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、.3mm以下ローム粒少し含む

竪穴土坑17 H-H'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、.50～10mmロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む
2. 暗褐色土 締り強い、粘性有、.10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土と黒褐色土の混合土、.30～10mmロームブロック・5mm以下ローム粒やや多く含む

竪穴土坑18 J-J'

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、最大30mm平均10～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多い、.10～5mm黒褐色土少し含む
2. 暗褐色土 締り有、粘性弱、.20～5mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒多く含む、.5mm大黒褐色土少し含む

竪穴土坑19 J-J'

1. 暗褐色土 締り有、粘性弱、.20～5mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒多く含む、色調明るい

竪穴土坑20 G-G'・J-J'

1. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、.50～10mm、平均20～10mmロームブロック多く、3mm以下ローム粒やや多く含む、但しJ-J'については不明瞭だが南側ロームブロック径平均10～20mm大、下部色調暗め
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、.5mm以下ローム粒やや多く含む、色調やや暗い、但しJ-J'については10～5mmのロームブロックやや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、.20～5mmロームブロックやや多く含む、3mm以下ローム粒やや多く含む

竪穴土坑21 D-D'

1. 暗褐色土 締り硬化、粘性有、.10～5mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒多く含む、5mm厚の黒褐色土を間層として複数挟む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、.20～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、3mm以下のローム粒やや多く含む、色調黒味有り

竪穴土坑22 L-L'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、.40～10mmロームブロック・5mm以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性弱、最大70mm、平均20～10mmロームブロック、5mm以下ローム粒多く含む、10～5mm黒褐色土ブロックやや多く含む、全体の色調に黒味有り、最下部に黒褐色土の薄層が堆積する

竪穴土坑24 M-M'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、.40～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む(竪穴4-1層より少ない)
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、.30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む、平均10～5mmロームブロック

竪穴土坑25 E-E'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、.30～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む(西部分は少なめ)
2. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、最大60、平均15～5mmロームブロック多く、3mm以下ローム粒やや多く、10～5mm黒褐色土少し含む

竪穴土坑26 D-D'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、.30～5mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む

土坑2 F-F'

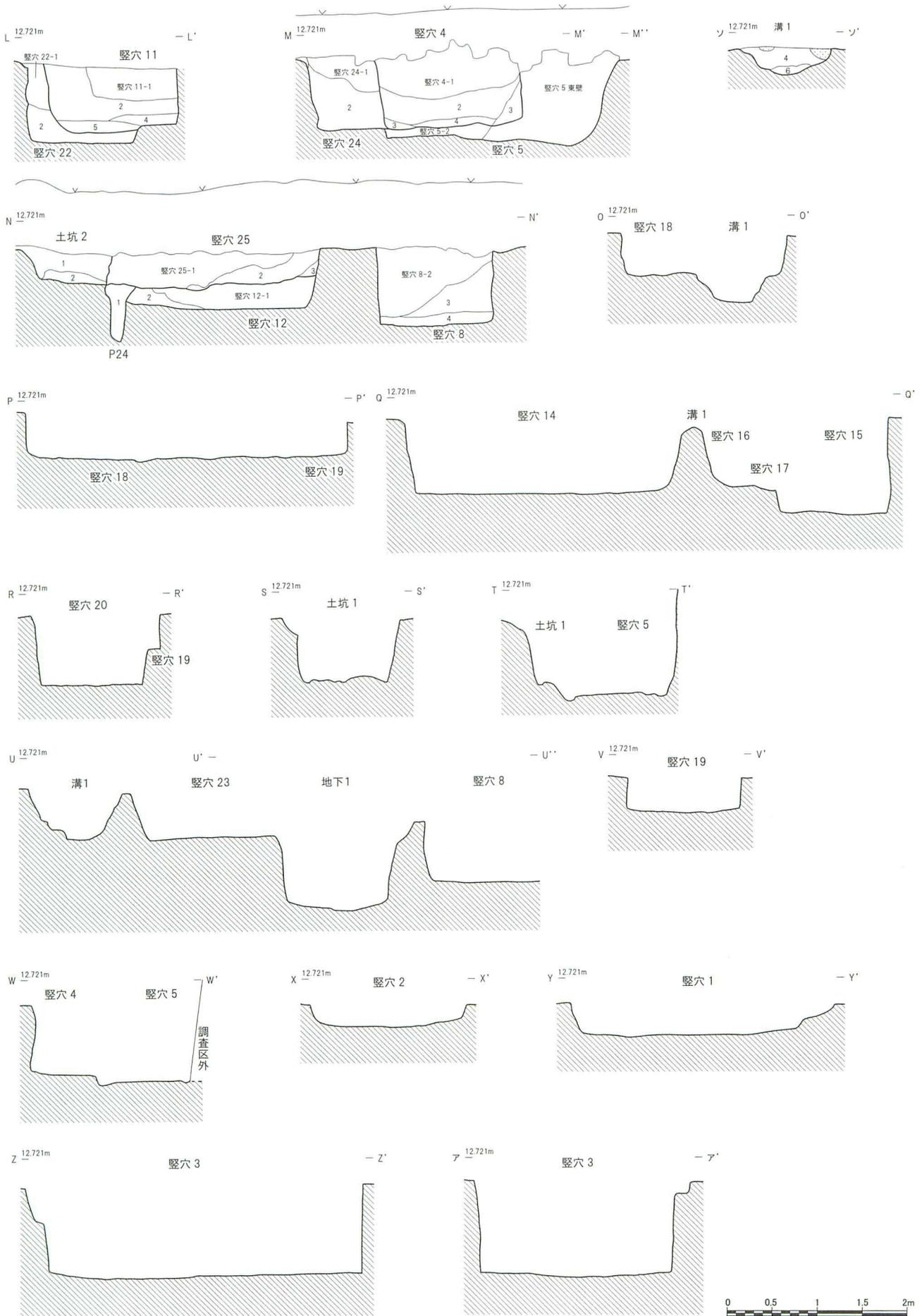
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ30～5mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒も多く含む

溝1 A-A'・G-G'・J-J'・ソーン'

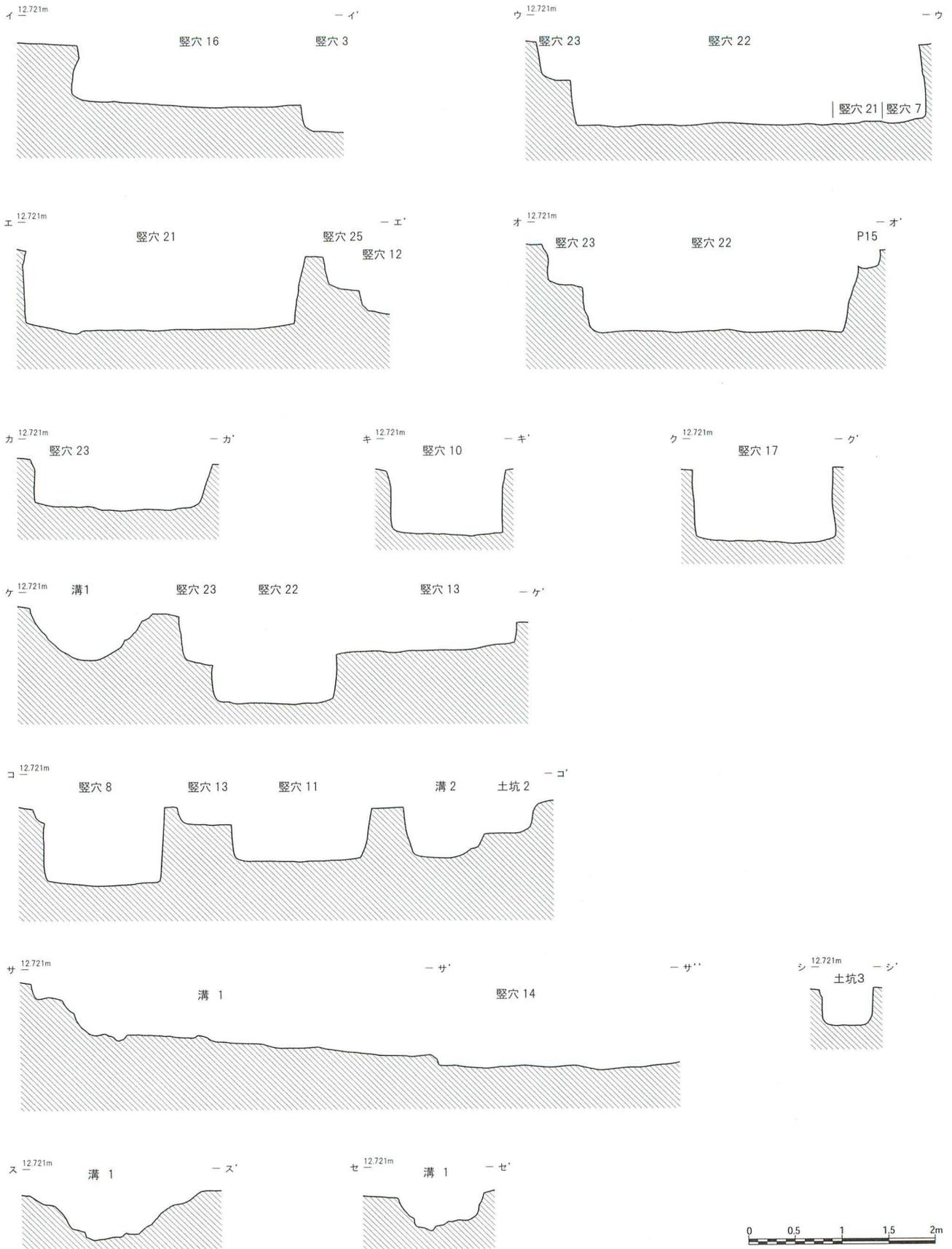
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く、シミ状に黒褐色土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、.20～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒少し含む、但しI-I'ではローム粒やや多く含む
- 2'. 黒褐色土 締り有、粘性有、2層より色調明るく、3mm以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、30mm大ロームブロックわずか、5mm以下ローム粒やや多く含む、但しI-I'では10～3mmのソフトローム粒・ブロックを含む
4. 黒褐色土ベース 締り有、粘性やや弱～弱、.50～5mmロームブロック多く含む
- 4'. 黒褐色土ベース 締り弱、粘性弱、4層攪乱気味、黒褐色土を多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ロームブロック均一に少し含む、10～5mmロームブロック少し含む、但しA-A'ではロームブロック多く含む、I-I'では北部3mm以下ローム粒やや多く含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒均一に含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、10～5mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む、竪穴14-1層に色調似る
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム粒を多く含む

溝2 F-F'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、.50～5mmロームブロックやや多く、3mm以下ローム粒少し含む、竪穴7-1の上部と締り強く似ている



第16図 駒林遺跡第5地点堅穴土坑土層図2・断面図1(1/60)



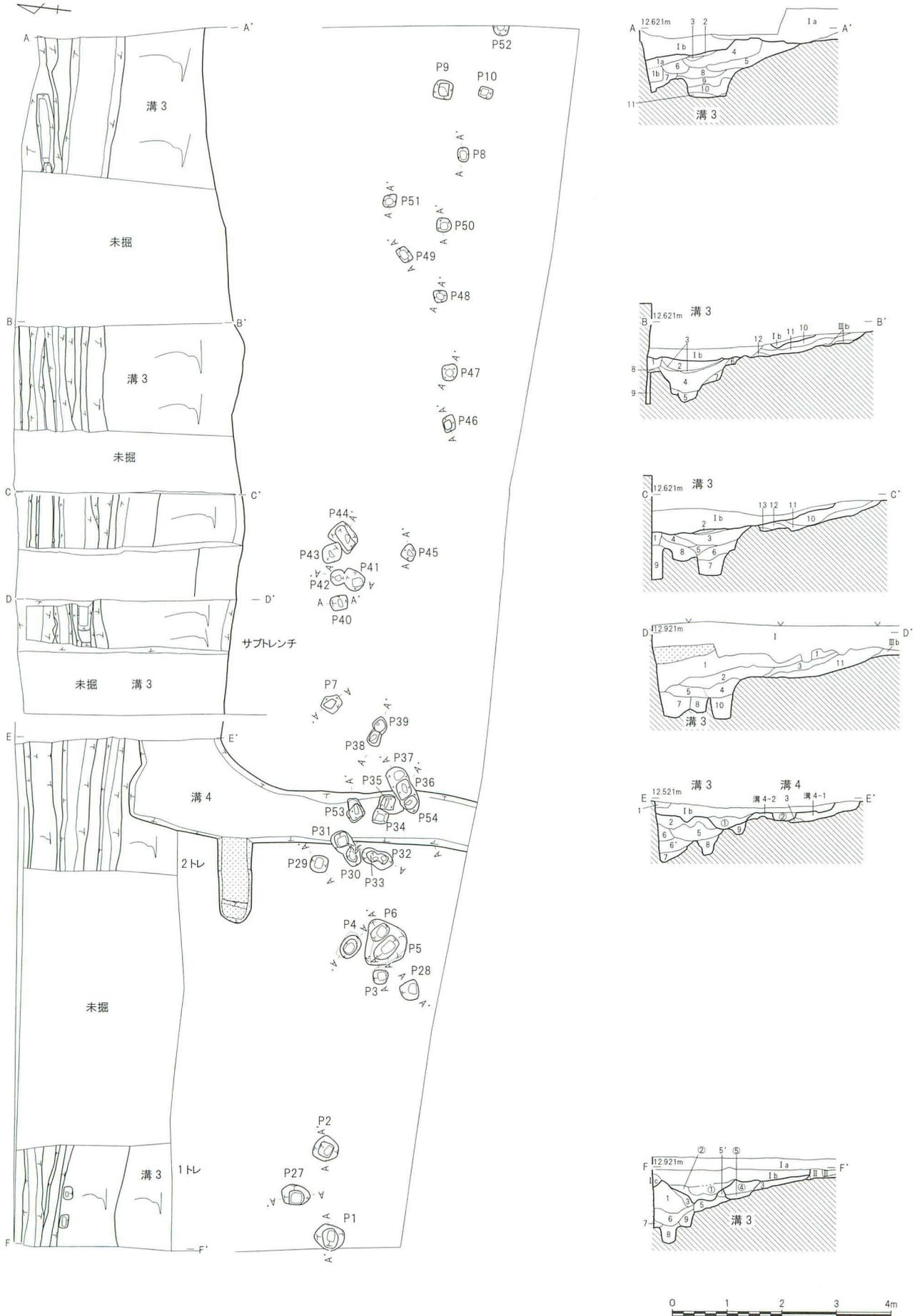
竪穴 25

1. 暗褐色土 締り有, 粘性有, .30 ~ 10mm ロームブロック少し, 3mm 以下ローム粒 やや多く含む。(西部分は少なめ)
2. 暗褐色土 締り強, 粘性やや弱, 最大 60 平均, 15 ~ 5mm ロームブロック多く, 3mm 以下ローム粒やや多, .10 ~ 5mm 黒褐色土を少し含む
3. 暗褐色土 締り有, 粘性やや弱, .10 ~ 5mm ロームブロック, 3mm 以下ローム粒 やや多, 地下 12-1 層に比べ色調くらく, ロームブロック径小さい

竪穴 26

1. 暗褐色土 締り有, 粘性やや弱, .30 ~ 10mm ロームブロック少し, 3mm 以下ローム粒やや多, 2 層より色調明るい
2. 黒褐色土 締り強, 粘性有, .30 ~ 5mm ロームブロック, 3mm 以下ローム粒少し含む

第 17 図 駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑断面図 2(1/60)



第18図 駒林遺跡第5地点溝3・4、柵列ピット(1/100)

- I. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、表土（攪乱及び耕作土）、ロームブロック少し含む
- I a. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、混入物少ない
- I b. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック少し、色調明るめ
- I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック少し、ローム粒（5mm 以下）やや多く含む、最下部に炭化物・焼土含む
- II. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、1 層より色調明るい
- III a. 暗褐色土 締り強、粘性有、地山漸移層、1mm 以下ローム粒少し含む
- III b. 地山ソフトローム

A - A'

- 1a. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック・ローム粒多く含む、最下部 20～30mm 厚ロームブロック集中
- 1b. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、黒褐色土とローム主体土の互層（上から黒 10cm、ローム 3cm、黒 3cm、ローム 10cm）
2. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、2mm 以下ローム粒少し
3. 暗褐色土 締り硬い、粘性有、3mm 以下ローム粒多く含む
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、10mm 以下ロームブロック・粒多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、30mm 以下ロームブロック・粒多く含む
6. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、5mm 大ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、15～10mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm 大ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む、7 層より色調明るめ
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、10～5mm ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒少し含む
10. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、ローム土、3mm 以下ローム粒主体
11. 暗褐色土ベース 締り硬い、粘性有、15～5mm ロームブロック主体、致密な堆積

B - B'

- 1b. 黒褐色土 締り強、粘性有、30～10mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック・粒少し含む、1 b よりロームブロック粒少ない
2. 黒褐色土ベース 締り強、粘性弱、最大 70mm ロームブロック主体
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 層より色調明るめ、15～10mm 厚の黒灰色シルトを間層としてはさむ、10～5mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土 締り硬、粘性有、最大 60mm 平均 10～5mm、ロームブロック 3mm 以下ローム粒多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、30～20mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む、4 層より色調暗い
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く、10mm 大ロームブロック少し含む
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 層より締り強い、平均 2mm 以下ローム粒少し含む
9. 暗褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、最大 100mm、大形のロームブロック主体
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、30～10mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒多く含む
11. 黒褐色土 締り強、粘性有、40～10mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒多く含む
12. 暗褐色土 締り硬い、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む

C - C'

- 1b. 黒褐色土 締り強、粘性有、40～10mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒やや多く炭化物含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少し、30mm ロームブロックわずが
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体
3. 暗褐色土 B - B' に同じ
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、40～5mm ロームブロック 3mm 以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、10～5mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多量、間層上に黒灰層を挟む
7. 暗褐色土 締り強、粘性弱、20mm 以下ロームブロック粒多量、黒色味強い
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し、10mm ロームブロックわずがに含む
9. 暗褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、最大 100mm、大形のロームブロック主体
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、40～10mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒多く含む
11. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、黒褐色土ベース、40～10mm ロームブロック、5mm 以下ローム粒多く含む（上層よりロームやや少）
12. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベース、2mm 以下ローム粒多く含む
13. 黒灰色 締り強、粘性有、30～5mm ロームブロック多く含む

D - D'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む、最大 100mm ロームブロック少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒灰色シルト多く、炭化物を層状にやや多く、5mm 以下焼土少し含む
3. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、80mm 以下ローム粒をやや多く、ソフトロームブロックを少し含む
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 層に連続するように最下部に黒灰色土が堆積するが、ロームブロックは 10mm 大少し、5mm 大ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り有、粘性有、150mm 以下（平均 40mm 以下）ハードロームブロック・ローム粒を多く含む、最下部に 20mm 厚の黒灰色土が堆積する（水成堆積）
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、10mm 以下ロームブロック・ローム粒をやや多く含む（1 層より多め）最下部に 30mm 厚の黒灰色土
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック・ローム粒をやや多く含む（6 層より多め）6 層より色調暗い
8. 暗褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、最大 110mm ハードロームブロック主体
9. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、10mm ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒多く含む
10. 暗褐色土 締り有、粘性弱、20mm 以下ロームブロック・ローム粒 7 層より多く含む
11. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、40mm 以下ロームブロックやや多く、ローム粒多く含む

E - E'

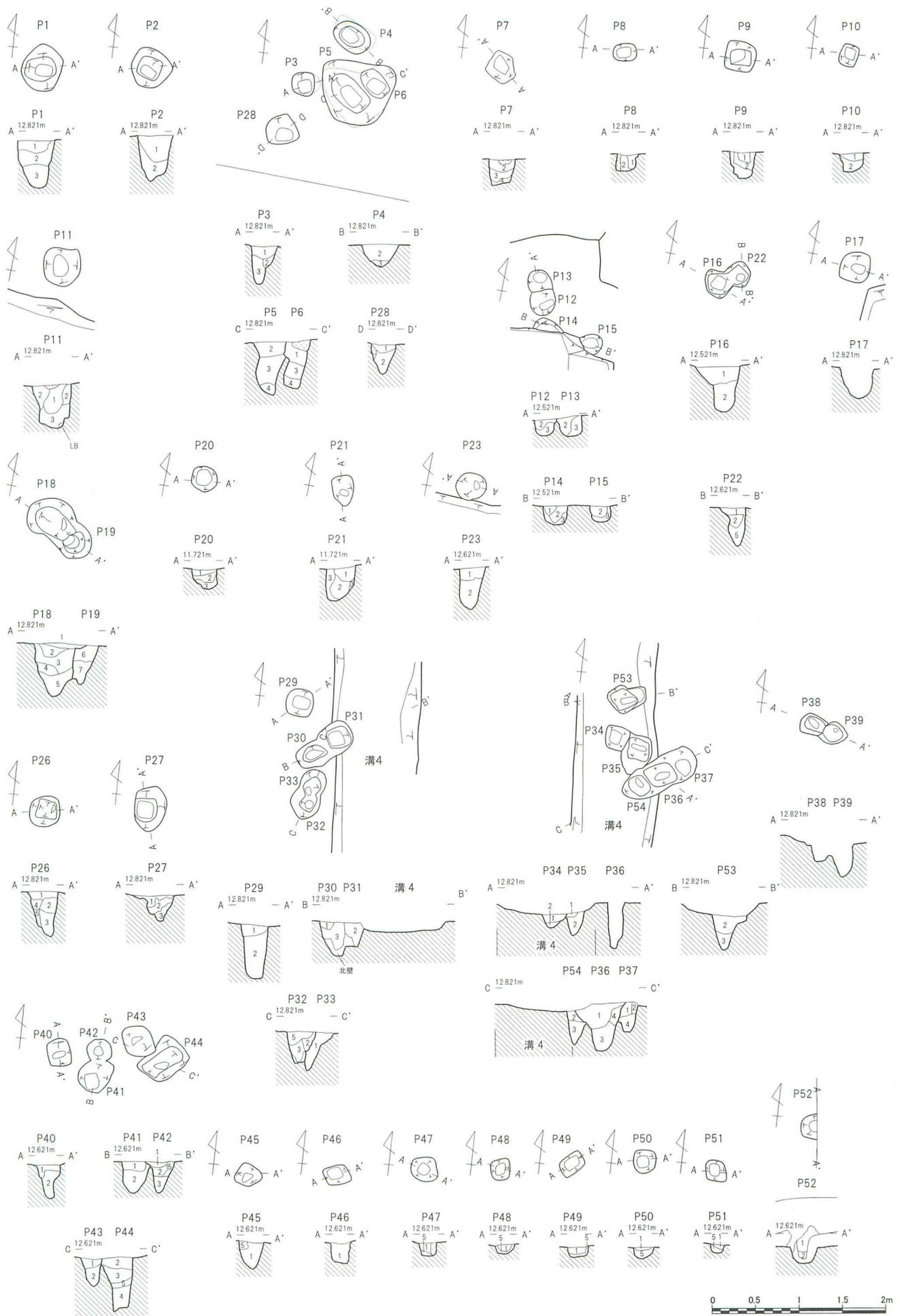
- ① 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く、5mm 炭化物微量に含む
- ② 暗褐色土 締り強、粘性有、10～5mm ロームブロック多く、10～5mm 黒褐色土ブロック少し含む、緻密な堆積
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し、5mm 炭化物微量、10mm ロームブロック微量、シルト質ブロック含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、20～10mm ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒やや多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
- 6'. 黒褐色土 締り強、粘性有、20～5mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒少し含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、20～5mm ロームブロック上層よりやや多く、2mm 以下ローム粒少し含む、上層より色調暗め
8. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、暗褐色土ベース、最大 70mm ロームブロック主体
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む

E - E' 溝 4

1. 暗褐色土ベース 締り有、粘性有、最大 60mm、平均 20～5mm ロームブロック主体、20～5mm 黒褐色土ブロック少し、緻密な堆積
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、50mm 大ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む、9 層に似た色調
3. ローム土ベース 締り強、粘性やや弱、20mm 以下ロームブロック主体

F - F'

- ① 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む
- ② 暗褐色土 締り有、粘性有、10mm 以下ソフトロームブロックやや多く含む
- ③ 暗褐色土 締り強、粘性有、20～10mm ロームブロック、5mm ローム粒少し含む、1 層より色調明るい
- ④ 暗褐色土 締り強、粘性有、20～5mm ロームブロック、3mm ローム粒少し含む
- ⑤ 暗褐色土 締り硬い、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、径大きなソフトロームブロック主体、最下部に黒褐色土の薄層
- 5'. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ソフトローム粒やや多く含む、全体の色調は黄灰色味強い
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、30～5mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒少し含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒多く含む
8. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、暗褐色土ベース、最大 90mm ロームブロック主体
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、10～5mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く含む



第19図 駒林遺跡第5地点ピット(1/60)

(6) 柵列

調査区東側、溝3と竪穴土坑群の中間地帯で、等間隔で東西方向にピットが並ぶ。

第7表 駒林遺跡第5地点遺構一覧表② (単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	(円形)	140 ~ (80)	66 ~ (35)	70	地4・5より新
土坑2		(118) ~ (85)	(111) ~ (75)	35	地25より溝2、地6と重複
土坑3	(方形)	(56) ~ 55	(43) ~ 43	42	
P1	楕円形	55 ~ 47	20 ~ 13	57	
P2	円形(方形)	45 ~ 45	17 ~ 10	46	
P3	方形	27 ~ 25	16 ~ 15	40	
P4	楕円形	45 ~ 32	21 ~ 15	29	
P5	楕円形	52 ~ 30	25 ~ 16	60	P6より旧
P6	楕円形	33 ~ 23	19 ~ 15	49	P5より新
P7	長方形	35 ~ 33	20 ~ 15	28	
P8	隅丸長方形	27 ~ 21	25 ~ 12	15	柵列
P9	隅丸長方形	35 ~ 35	17 ~ 15		柵列
P10	方形	26 ~ 21	12 ~ 12		
P11	隅丸方形	44 ~ 43	25 ~ 18	45	中近世、調査区内では古い方
P12	円形	29 ~ 26	17 ~ 7	27	P13との新旧不明
P13	円形	27 ~ 25	15 ~ 12	29	P12との新旧不明
P14		35 ~ (15)	24 ~ (8)	18	
P15	円形	25 ~ 23	16 ~ 11	25	
P16	方形	32 ~ 30	15 ~ 15	61	P21で切合
P17	隅丸方形	35 ~ 35	16 ~ 11	34	
P18	楕円形	62 ~ 46	15 ~ 5	67	P19より新
P19	円形	40 ~ (30)	15 ~ 8	48	P18より旧
P20	円形	40 ~ 39	19 ~ 18	109	地下14内
P21	隅丸長方形	35 ~ 25	12 ~ 6	49	
P22	方形	29 ~ 27	21 ~ 21	44	
P23	円形	35 ~ 31	12 ~ 5	50	
P24	(円形)	25 ~ (17)	15 ~ 10	103	土2より新

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P25					欠番
P26	方形	35 ~ 35	24 ~ 21	65	
P27	楕円形(方形)	53 ~ 37	20 ~ 18	36	
P28	隅丸方形	45 ~ 33	19 ~ 15	61	
P29	隅丸方形	34 ~ 32	20 ~ 15	65	
P30	楕円形	38 ~ 31	20 ~ 10	43	P31より旧
P31	方形	35 ~ 32	17 ~ 17	46	P30より新
P32	円形	34 ~ 32	10 ~ 8	40	P33より新
P33	円形	32 ~ 28	10 ~ 7	43	P32より旧
P34	方形	29 ~ 26	15 ~ 14	40	P35より新
P35	方形	25 ~ 23	19 ~ 5	37	P34より旧
P36	長方形	32 ~ 26	20 ~ 10	54	P37・54より新
P37	円形	40 ~ 30	20 ~ 17	32	P36より旧
P38	円形	30 ~ 24	5 ~ 5	42	
P39	長方形	28 ~ 24	18 ~ 8	24	
P40	正方形	33 ~ 27	16 ~ 8	39	
P41	楕円形(正方形)	41 ~ 35	18 ~ 15	48	P42より旧
P42	円形	28 ~ 26	12 ~ 9	41	P41より新
P43	楕円形	38 ~ 32	15 ~ 7	54	P44より新
P44	長方形	52 ~ 34	15 ~ 10	61	P43より旧
P45	正方形	26 ~ 25	13 ~ 8	29	
P46	長方形	27 ~ 22	20 ~ 13	30	柵列
P47	方形	32 ~ 27	13 ~ 13	18	柵列
P48	方形	23 ~ 22	12 ~ 12	11	柵列
P49	長方形	30 ~ 20	18 ~ 12	16	柵列
P50	隅丸方形	27 ~ 26	14 ~ 14	20	柵列
P51	方形	24 ~ 23	15 ~ 12	11	柵列
P52	(円形)	30 ~ (25)	13 ~ 13	22	
P53	長方形	35 ~ 33	18 ~ 6	54	
P54	楕円形	25 ~ 21	13 ~ 5	47	P36より旧

P11・40

1. 暗褐色土 締り有.粘性有. 10mm以下ソフトロームブロック少し. 3mm以下ローム粒やや多く. 15mm以下黒褐色土少し含む
 2. 暗褐色土ベース 締り強.粘性有. ローム土多く含む
 3. 黒褐色土 締り有.粘性有. ソフトロームやや多く. ロームブロック少し含む
- P11は他と比べてロームの混入多く調査区内では旧め

ピット土層(中・近世) P1~10・27・29~37・41~51・54

1. 黒褐色土 締り有.粘性有. ソフトロームブロックやや多く. ローム粒少し. ソフト質の暗褐色土ブロックやや多量.(表土の土は1層より灰色味強い)
2. 暗褐色土 締り有.粘性有. 黒褐色土ベースでロームブロック. ローム粒多く含む
3. 黒褐色土 締り有.粘性有. ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り有.粘性有. 20mm以下ロームブロックやや多く含む
5. 黒褐色土ベース 締り強.粘性有. 黒褐色土ベースでロームブロック主体

P12・13・14・15

1. 暗褐色土 締り有.粘性有. ソフトローム多く含む
2. 黒褐色土 締り強.粘性有. 60mmロームブロック 3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強.粘性有. 20mmロームブロック・ソフトローム土多く含み色調明るい

P16・18・19・22

1. 黒褐色土 締り強.粘性有. 10mm大ロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強.粘性有. 3mm以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土 締り強.粘性有. 5mm大ロームブロック少し. 3mm以下ローム粒やや多く含む

4. 暗褐色土 締り強.粘性有. ソフトローム土. 2mm以下ローム粒多く含む
5. 黒褐色土 締り強.粘性有. 20~5mmソフトロームブロック少し含む
6. 暗褐色土 締り強.粘性有. 2mm以下ローム粒やや多く含む(3層に比べローム粒少なめで締り強め)
7. 黒褐色土 締り強.粘性有. 30~5mmロームブロック少し含む(5層に比べ締り強め)

P20. 竪穴土坑14底部に検出

1. 暗褐色土 締り硬い.粘性有. 10~5mmロームブロック多く含む
2. 暗褐色土 締り有.粘性弱. 2mm以下ローム粒均一に少し含む. 10mmロームブロック少し含む
3. 暗褐色土ベース 締り強.粘性やや弱 60~10mmロームブロック主体

P21 黒褐色土主体(混入少)

1. 黒褐色土 締り強.粘性有. 3mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強.粘性有. 3mm以下ローム粒わずかに含む. 30~5mmソフト質の暗褐色土ブロック含む
3. 黒褐色土ベース 締り強.粘性有. ソフトロームブロック主体

P23

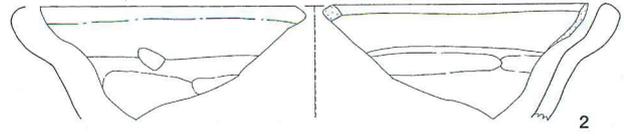
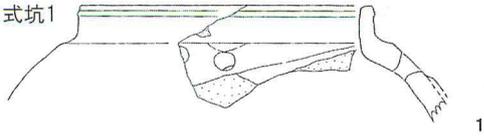
1. 黒褐色土 締り強.粘性有. ソフト質暗褐色土を含み. 全体の色調は2層より明るく. 3mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強.粘性有. 30mm大ロームブロックわずかに含む. 3mm以下ローム粒少し. ブロック状に下部に集中する

第8表 駒林遺跡第5地点出土遺物観察表

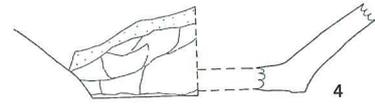
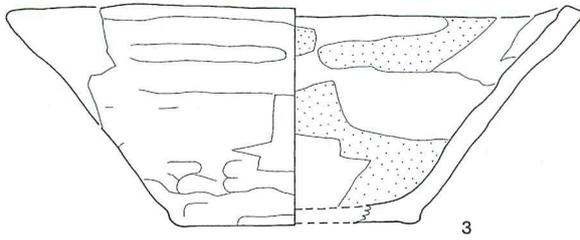
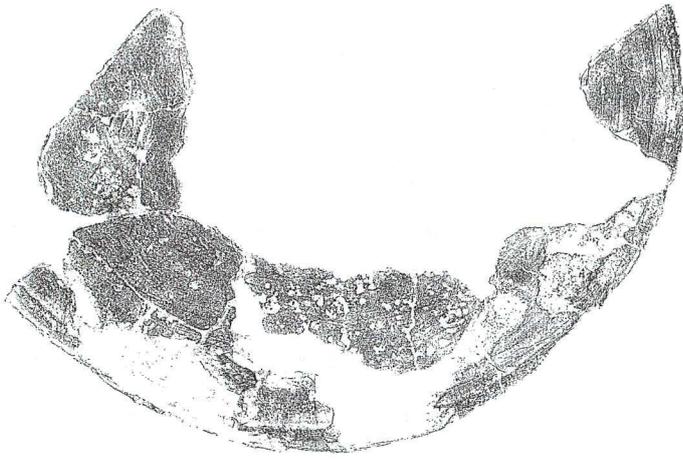
(単位cm)

掲載 番号	遺構名	出土 状況	種別・ 器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	遺 存 部 位	技法 / 文様 / その他	推定年代・ 時期	備考 / 推定 生産地
1	1号地下 式坑	覆土下 層 北西角	瓦質土 器・土 釜	(15.0)	—	—	口縁部 1/4以 下残存	紐作り成形、外面口縁部横撫で、体部横撫 で。器面は滑らか。外耳剥落と思われる痕 跡有。その上部に焼成後の穿孔(径1.3cm) 2ヶ所あり。内面横撫で。/石英、雲母、 砂粒多量含む。	14世紀後半 ～16世紀	在地
2	1号地下 式坑	覆土下 層	瓦質土 器・内 耳鍋	(31.6)	—	—	口縁部 1/4以 下残存	紐作り成形、外面口縁部横撫で、体部指頭 圧痕後縦撫で。内面横撫で。/石英、雲母、 砂多量含む。外面炭化物附着。	14世紀後半 ～15世紀前 半	在地
3	竪穴土坑 2	覆土	瓦質土 器・鉢	(30.0)	(13.0)	11.5	1/2以 下残存	紐作り成形、外面口縁部横撫で、体部指頭 圧痕。内面横撫で。/内外面とも器面の剥 落がある。特に内面は径5mm前後の剥落が 著しい。/石英、砂粒多量含む。	14世紀後半 ～15世紀	在地
4	竪穴土坑 2	覆土	焼締陶 器・片 口鉢	—	11.0	—	底部破 片	輪積み成形、下半縦篋撫で / 内面磨耗	14世紀後半 ～15世紀	常滑
5	竪穴土坑 8	覆土	土器・ 深鉢	—	—	—	胴部破 片	輪積み成形 / 粘土紐を添付し、隆帯脇を幅 広沈線で撫で付け後、LR縄文を横位に施 文し、隆帯間の文様帯を充填する。/砂粒 含む。	加曾利EⅢ	縄文土器
6	竪穴土坑 8	覆土	土器・ 深鉢	—	—	—	胴部破 片	輪積み成形 / 粘土紐を添付し、隆帯脇を幅 広沈線で撫で付け後、LR縄文を縦位に施 文し、隆帯間の文様帯を充填する。/砂粒 含む。	加曾利EⅢ	縄文土器
7	竪穴土坑 8	覆土	陶器・ 徳利	—	8.0	—	底部破 片	ロクロ成形 / 外面灰釉、底部拭き取り、内 面無釉。五合徳利。	19世紀前半	瀬戸・美濃
8	竪穴土坑 8	覆土	陶器・ 蓋	(10.0)	—	1.9	1/2以 下残存	ロクロ成形 / 釉下色絵。	1900年～	
9	竪穴土坑 8	覆土	磁器・ 猪口	(5.0)	(3.0)	3.8	1/4以 下残存	ロクロ成形 / 銅版絵付け。	1890年～	瀬戸・美濃
10	溝1	覆土	銭貨・ 銅貨	外径 2.43	穿径 0.56	0.11	完形	重3.09g。鑄造 / 「寛永通寶」1期(古寛永)。	1636年～ 1659年	
11	溝1	覆土	銭貨・ 銅貨	外径 2.67	穿径 0.70	0.10	完形	重2.55g。鑄造 / 「文久永寶」、四文銭。	1863年～ 1865年	
12	根切り溝	覆土	陶器・ 灯明受 皿	(9.2)	(4.2)	1.8	1/4以 下残存	ロクロ成形。体部から底部へラ削り。棧(受 部)貼り付け。/鉄釉。外面と棧部凸帯先 端に溶着痕。	18世紀後半	瀬戸・美濃
13	根切り溝	覆土	磁器・ 碗	(12.0)	(3.5)	5.8	1/4以 下残存	ロクロ成形 / 釉下色絵。	1890年～	瀬戸・美濃
14	遺構外		陶器・ 不明	2.2	3.8	0.9	完形			
15	遺構外		鉄製品・ 釘	7.5	—	0.7	完形			

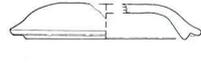
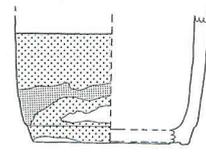
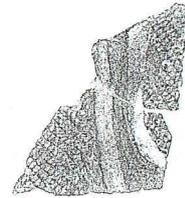
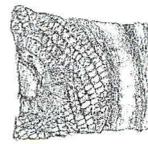
地下式坑1



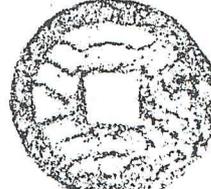
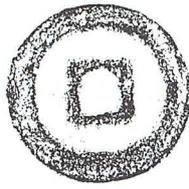
竪穴土坑2



竪穴土坑8



溝

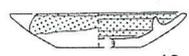


10

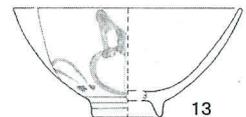
11



根切り溝



12



13

遺構外



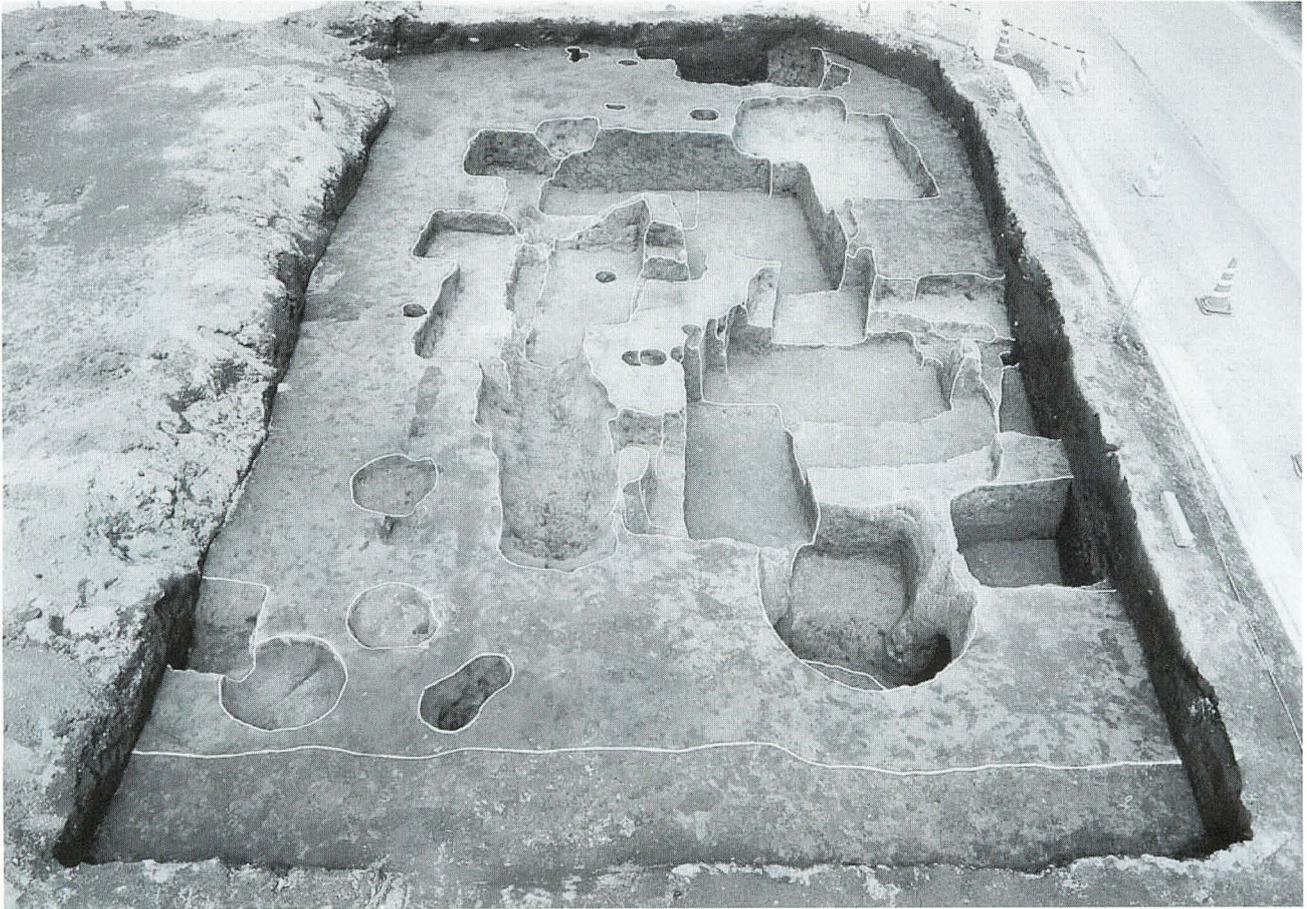
14



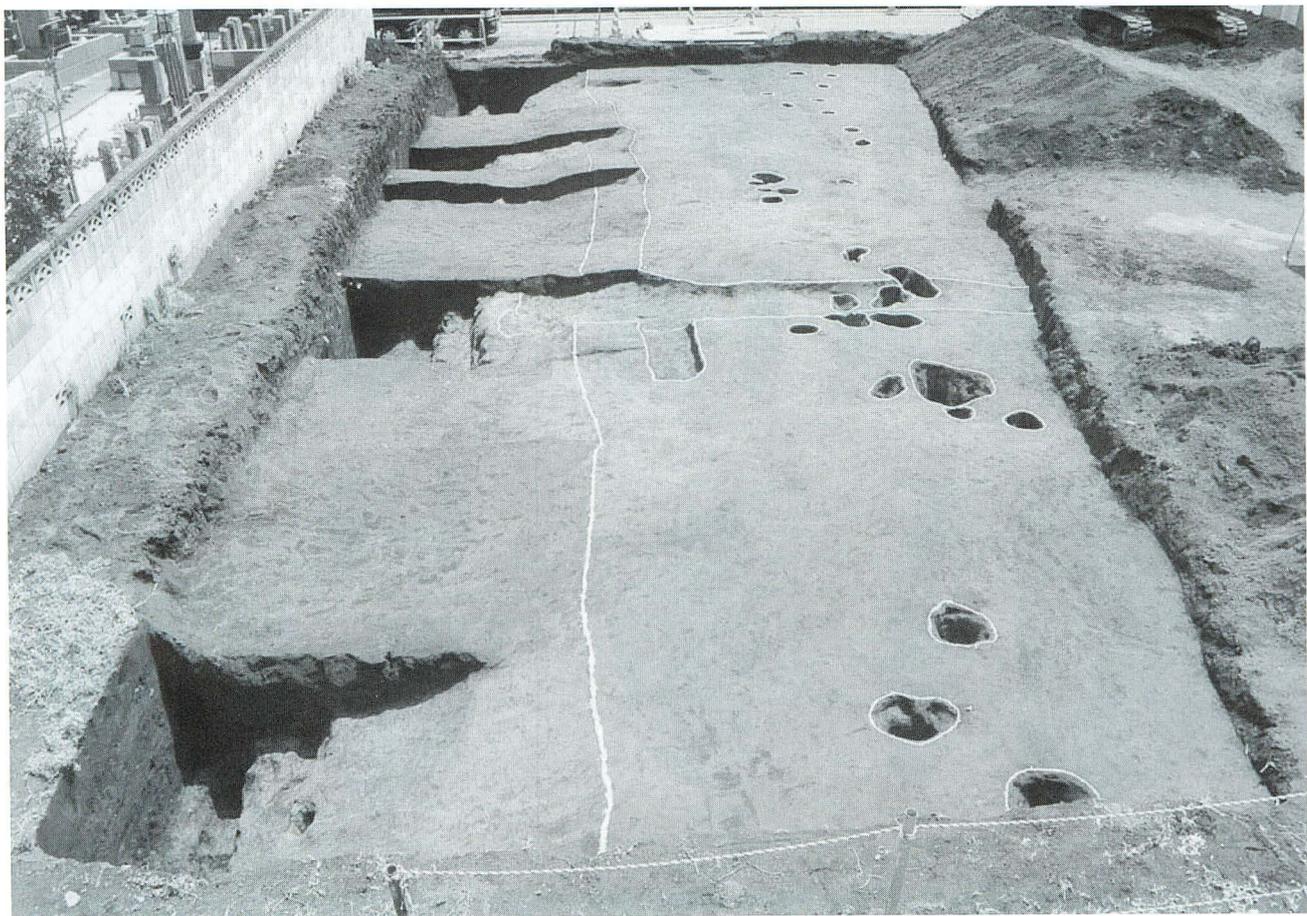
15



第 20 図 駒林遺跡第 5 地点出土遺物 (1/4・1/1)



駒林遺跡第 5 地点 A 区全景 (西から)



駒林遺跡第 5 地点 B 区全景 (西から)



駒林遺跡第 5 地点集石土坑 1



駒林遺跡第 5 地点集石土坑 1 炭化材出土状況



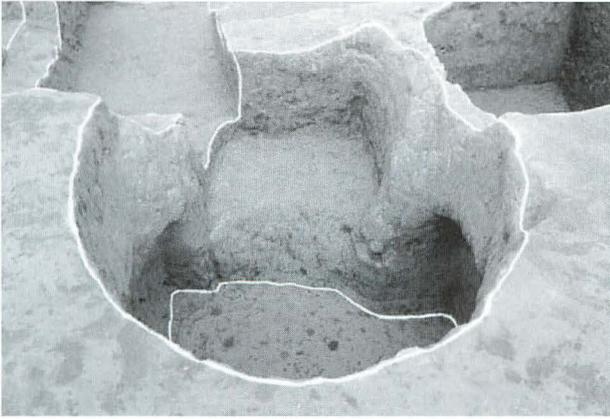
駒林遺跡第 5 地点集石土坑 2



駒林遺跡第 5 地点集石土坑 3



駒林遺跡第 5 地点地下式坑 1



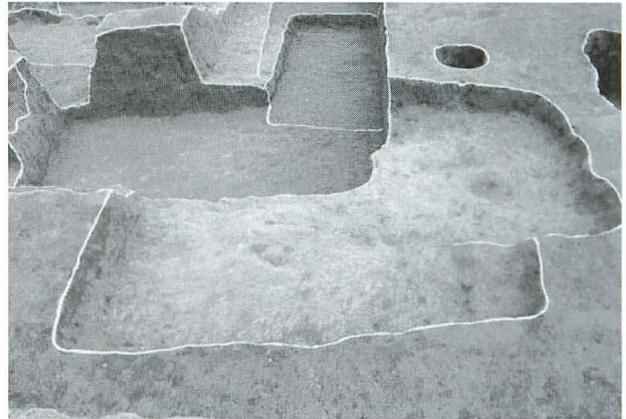
駒林遺跡第 5 地点地下式坑 1 竪坑



駒林遺跡第 5 地点地下式坑 1 遺物出土状況



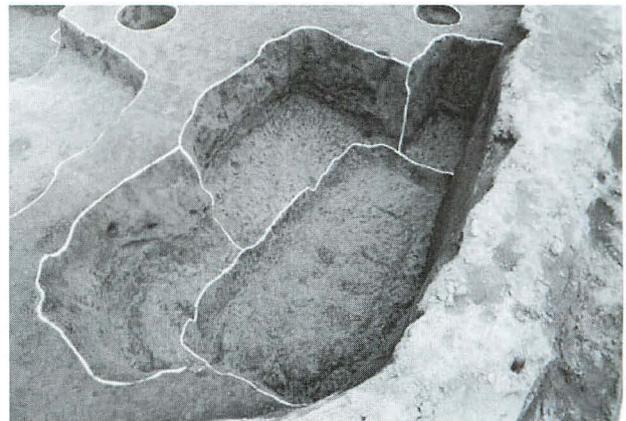
駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑群 (北から)



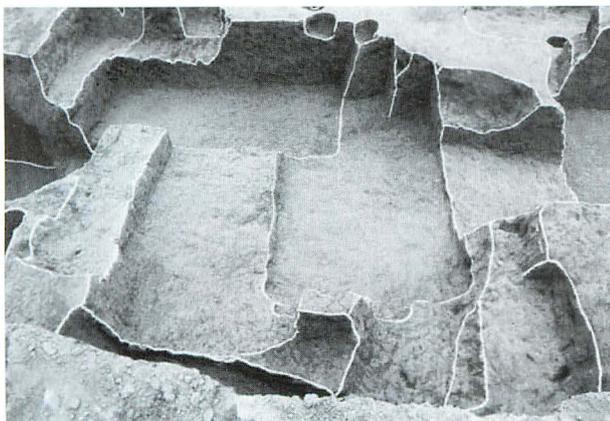
駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑 1・2



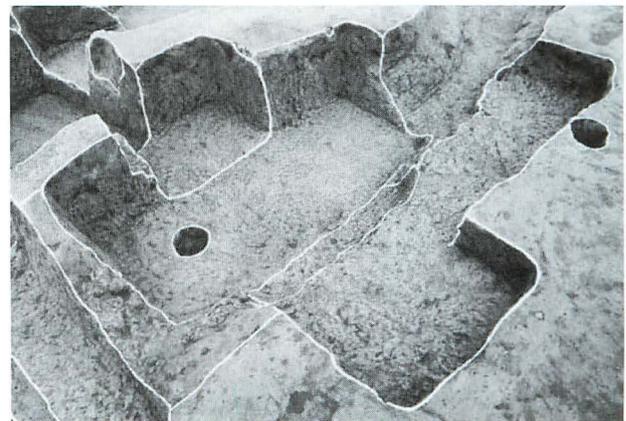
駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑 3



駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑 4・5・24



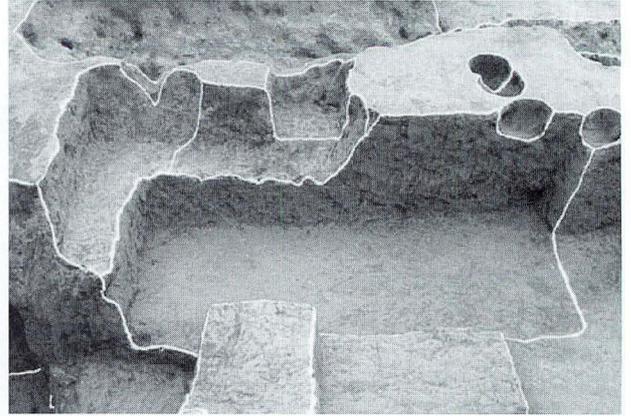
駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑 6・7・10 ~ 13・21



駒林遺跡第 5 地点竪穴土坑 14・18 ~ 20



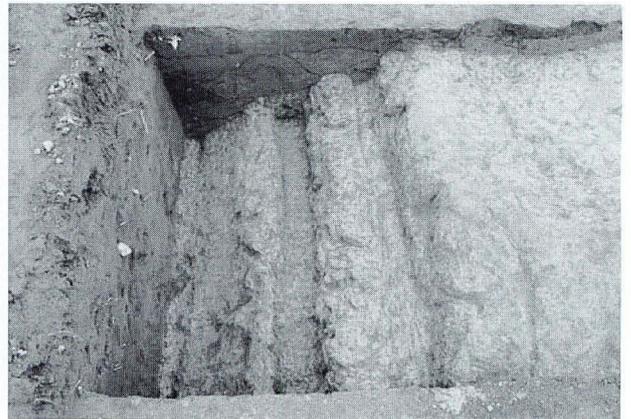
駒林遺跡第5地点竪穴土坑15~17



駒林遺跡第5地点竪穴土坑22・23



駒林遺跡第5地点溝1



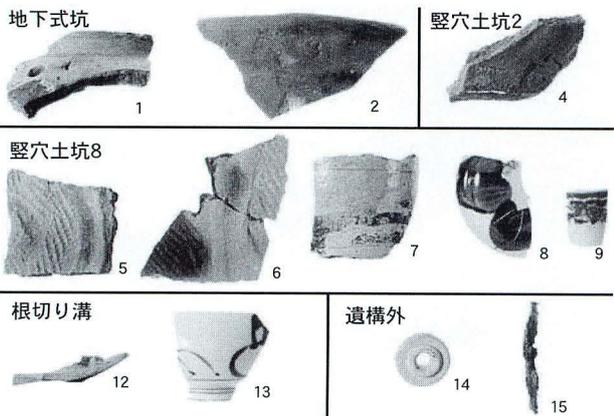
駒林遺跡第5地点溝3土層(E-E)



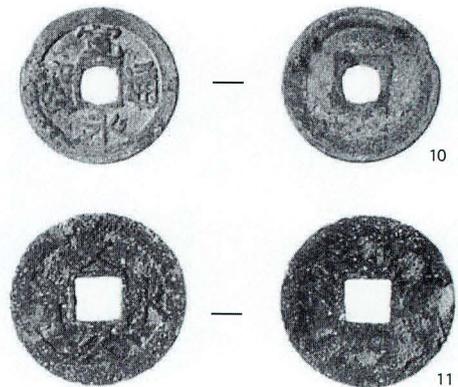
駒林遺跡第5地点作業風景



駒林遺跡第5地点竪穴土坑2出土遺物 No.3



駒林遺跡第5地点出土遺物 No.1・2・4~9・12~15



駒林遺跡第5地点溝出土遺物 10・11

報告書抄録

書名	市内遺跡群 5	シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 6 集			
編集者	高崎直成	著者	高崎直成			
編集機関	ふじみ野市教育委員会	所在地	〒 356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目 1 番 1 号 TEL 049 (220) 2088			
発行日	2011 年 (平成 23 年) 3 月 18 日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了	m ²	調査担当者
	種別 // 主な時代・主な遺構・主な遺物 特記事項					
つるがおかそと 鶴ヶ岡外遺跡 第 5 地点	さいたまけんふじみのしつるがおか 埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡	112453	35° 51' 55"	20080220	400	共同住宅建設
	5-188-1, 741-1, 198-1, 199-1, 214-1	30-048	139° 29' 44"	20080307		越村篤
	集落跡 // 旧石器時代・石器集中 3 カ所・旧石器時代ナイフ、削器、台石 本遺跡では最も石器の集中した石器群を検出した。立川ローム第IV層上部に集中する。					
こまばやし 駒林遺跡第 5 地点	さいたまけんふじみのしこまばやしんでんまえ 埼玉県ふじみ野市駒林新田前	112453	35° 52' 00"	20080530	509	分譲住宅建設
	256	25-013	139° 31' 42"	20080628		越村篤
	集落跡 // 縄文時代・集石土坑 3 基・縄文土器 / 中近世・地下式坑 1 基、竪穴土坑 25 基、溝 4 条、 柵列、ピット・土釜、瓦質鍋、瓦質鉢、銭貨、陶磁器 縄文時代の集石土坑は本遺跡で初検出。周辺で縄文時代の遺構分布を検討していく必要がある。 また、調査地は地藏堂墓地 (西の寮) の南側に位置し、地下式坑や竪穴土坑との関係を検討する必要がある。墓地との境界に位置する溝も、調査地点の西側で 250m 近く検出した大溝と一直線上にあり、同一遺構の可能性はある。					
しんめいうしろ 神明後遺跡 第 34 地点	さいたまけんふじみのしなえましんめいうしろ 埼玉県ふじみ野市苗間神明後	112453	35° 51' 36"	20080516	357	分譲住宅建設
	283-1, 284-1 の一部	30-041	139° 31' 38"	20080528		高崎直成
	集落跡 // 縄文時代・中期住居跡 1 軒、落とし穴 1 基、集石土坑 3 基、ピット・加曾利 E Ⅲ期 土器、石鏃、打製石斧 / 中～近世・溝、溝状遺構・近世陶磁器 本遺跡における縄文時代中期の住居分布は本地点より 100 m 東側にあり、住居跡は分布中心域より離れる。本地点周辺の縄文時代遺構は集石等が多く、中期住居跡の検出は少ない。 また、調査区南で検出した南北方向の溝 6 は、本調査区東側の地点で検出した中世屋敷の区画溝西端の可能性はある。					
ほむら 本村遺跡第 119 地点	さいたまけんふじみのしいちさわ 埼玉県ふじみ野市市沢 3 丁目	112453	35° 51' 12"	20080604	254	共同住宅建設
	4-24 の一部	30-034	139° 31' 33"	20080619		高崎直成
	集落跡 // 中世・地下式坑 2 基、土坑 15 基、ピット 60 基・茶臼、瓦質鉢、カワラケ、銭貨、 煙管 地下式坑は本調査区北側の 104 地点でも 2 基検出しており、地下式坑と土坑群の分布と配置 を検討していく必要がある。					

第11章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

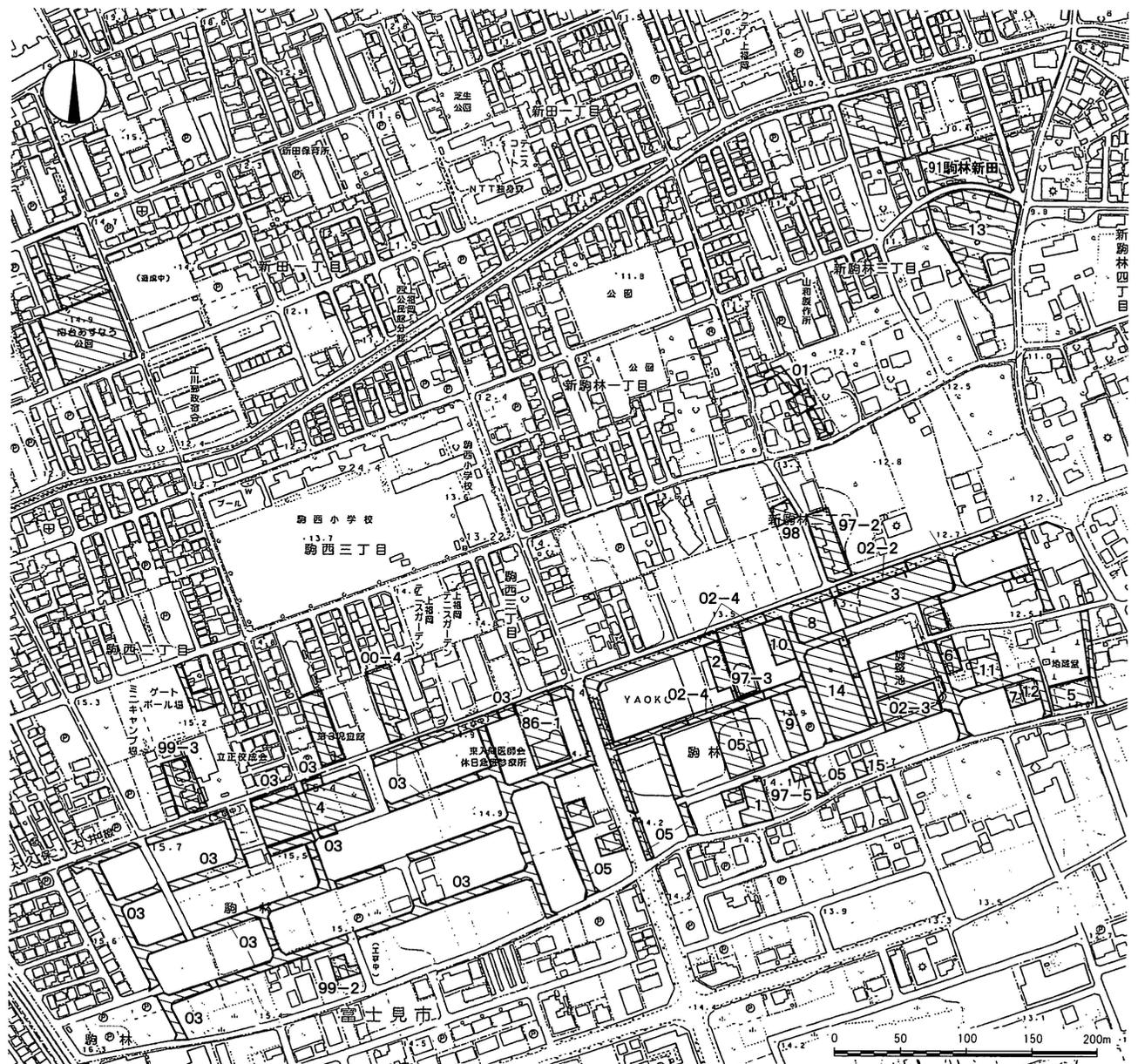
駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高12～15m前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北300m、東西800mの広大な範囲であったが、2002年から2004年にかけて行なった駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大半の地域で遺構を確認できなかったため、大溝を検出した南北160m、東西80mの範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として2004年3月に追加した。

しかし、今回第3地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺140

～160mの台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、北側にある葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側にある地下式坑を検出した駒林新田前遺跡を統合して駒林とし、2008年2月に遺跡範囲の変更増補を行なった。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、500m下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。

2002年以降の試掘調査の結果、幅4.2m、深さ1.7mの大溝や茶毘跡を検出する。周辺の遺跡の様相から遺跡の時期は中世から近世と思われる。



第90図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第43表 駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	駒林字南原 353,354	1986.8.13 ~ 25	1,536	範囲確認調査	平安土器散布他	埋蔵文化財の調査 (IX)
1992年度試掘(1)	大字駒林字南原 341	(1992.9.16 ~ 18)	987	共同住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(15)
1995年度試掘(1)	駒林字新田前 271-2	(1995.11.8 ~ 24)	231	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(18)
1996年度試掘(1)	駒林本町 153-3,4	(1996.6.10 ~ 13)	231	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(19)
1997年度試掘(1)	駒林字新田前 266-2	(1997.5.8 ~ 12)	132	個人住宅	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1997年度試掘(2)	駒林字新田前 223	(1997.5.9 ~ 15)	991	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1997年度試掘(3)	駒林字新田前 291-1,2	(1997.10.6 ~ 17)	991	診療所	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(20)
1998年度試掘(1)	駒林字新田前 312	(1998.8.10)	234	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(21)
1999年度試掘(1)	駒林字南原 424-2の一部,20の一部,23	(1999.4.9)	330	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(22)
1999年度試掘(2)	駒林字南原 394-2	(1999.5.25)	125	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(22)
1999年度試掘(3)	駒林字南原 420-1	(1999.7.1)	1,322	礼拝堂(道場)	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(22)
2000年度試掘(1)	駒林字南原 344-2	(2000.1.18 ~ 20)	785	共同住宅	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(22)
2002年度試掘(1)	駒林字新田前 238,240 ~ 242-1の一部	(2002.6.3 ~ 21)	650	区画整理	溝8、土坑7、地下式坑1	埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(2)	駒林字新田前 243 ~ 245	(2002.8.9 ~ 30)	275	区画整理	溝1、遺物無し	埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(3)	駒林字新田前 262-1,263,264の一部	(2002.8.30 ~ 9.19)	1,120	区画整理	土坑1、遺物無し	埋蔵文化財の調査(25)
2002年度試掘(4)	駒林字新田前 280 ~ 282-2,290,292-1 ~ 298の一部	(2002.11.11 ~ 27)	1,150	区画整理	溝4、遺物無し	埋蔵文化財の調査(25)
2003年度試掘(1)	駒林字新田前 263,273,275(字新田前)試掘調査	(2003.5.16 ~ 21)	558	区画整理	溝1	埋蔵文化財の調査(26)
2003年度試掘(2)	駒林字南原 364外41筆の一部(字南原)試掘調査	(2003.4.25 ~ 12.22)	7,278	区画整理	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(26)
2003年度試掘(3)	駒林字南原 409,410の一部(字南原)試掘調査(区6-10号線予定地東端)	(2004.1.21)	292		遺構・遺物無し	15年度教育要覧
2004年度試掘(1)	駒林字新田前 281	(2006.1.7 ~ 24)	1,487	範囲確認調査	溝1	埋蔵文化財の調査(27)
1	駒林土地区画整理事業地内 20街区 4,8,9	2006.7.13 ~ 28	646	共同住宅	堀跡、茶毘跡検出	市内遺跡群 3
2	駒林土地区画整理事業地内 17街区 7,8の一部	2006.11.21 ~ 29	421	専用住宅	堀跡検出	市内遺跡群 3
3	駒林土地区画整理事業地内 21街区 3,4の一部	2006.11.30 ~ 12.18	1,916	店舗	近世遺構建設	市内遺跡群 3
4	駒林B地区 7街区 3,4	2007.6.11 ~ 13	1,866	共同住宅	縄文：土坑1	市内遺跡群 4
5	大字駒林字新田前 256(仮換地指定 30街区 2)	(2008.4.9 ~ 16) 2008.5.30 ~ 6.28	509	分譲住宅	縄文：集石3、中近世：地下式坑1、竪穴状遺構25、溝4、欄列、ピット	市内遺跡群 5、6
6	大字駒林字新田前 248-2(仮換地1街区 27符号1)	(2008.8.27)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群 6
7	駒林土地区画整理事業地内 28街区 5画地	(2009.2.3) 2009.2.4,5	152	個人住宅	時期不詳の堀・溝跡 2	市内遺跡群 6
8	大字駒林字新田前 245-5	(2009.6.8)	132	個人住宅	遺構・遺物無し	未報告
9	大字駒林字新田前 284	(2009.7.22 ~ 30) 2009.7.30 ~ 8.5	892	共同住宅	縄文：集石土坑1、土坑2、ピット9、溝1	未報告
10	大字駒林字新田前 288-1の一部	(2010.2.17,18)	400	個人住宅	遺構・遺物無し	未報告
11	駒林区画整理事業 27街区 2,10画地、11画地の一部	(2010.4.12 ~ 21)	689	個人住宅	遺構・遺物無し	未報告
12	駒林字新田前 258-2(28街区 12画地)	(2010.7.14)	115	個人住宅	中世～近世：溝確認	未報告
13	新駒林 3-722-1,3,4	(2010.7.27 ~ 29)	927	共同住宅	近世の土坑2、ピット11	未報告
14	駒林字新田前 285 ~ 287、288-2,3(22街区区内)	(2010.9.1 ~ 8)	2,000	公園工事	遺構・遺物無し	未報告
15	大字駒林字新田前 266-3(24街区 12符号)	(2011.2.16,17) 2011.2.17	115	個人住宅	時期不詳の土坑1	未報告

Ⅱ 駒林遺跡第5地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年5月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南西端に立地し、隣接地では地下式坑や溝を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月9日から同年4月16日まで行った。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、集石や暗褐色土の遺構プラン多数を確認した。遺構の性格を確認するため一部調査したところ、溝跡や地下式坑群であった。遺構確認面まで30cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はし

ていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で2008年5月30日から同年6月28日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、縄文時代の集石、中世以降の地下式坑、溝跡を検出した。

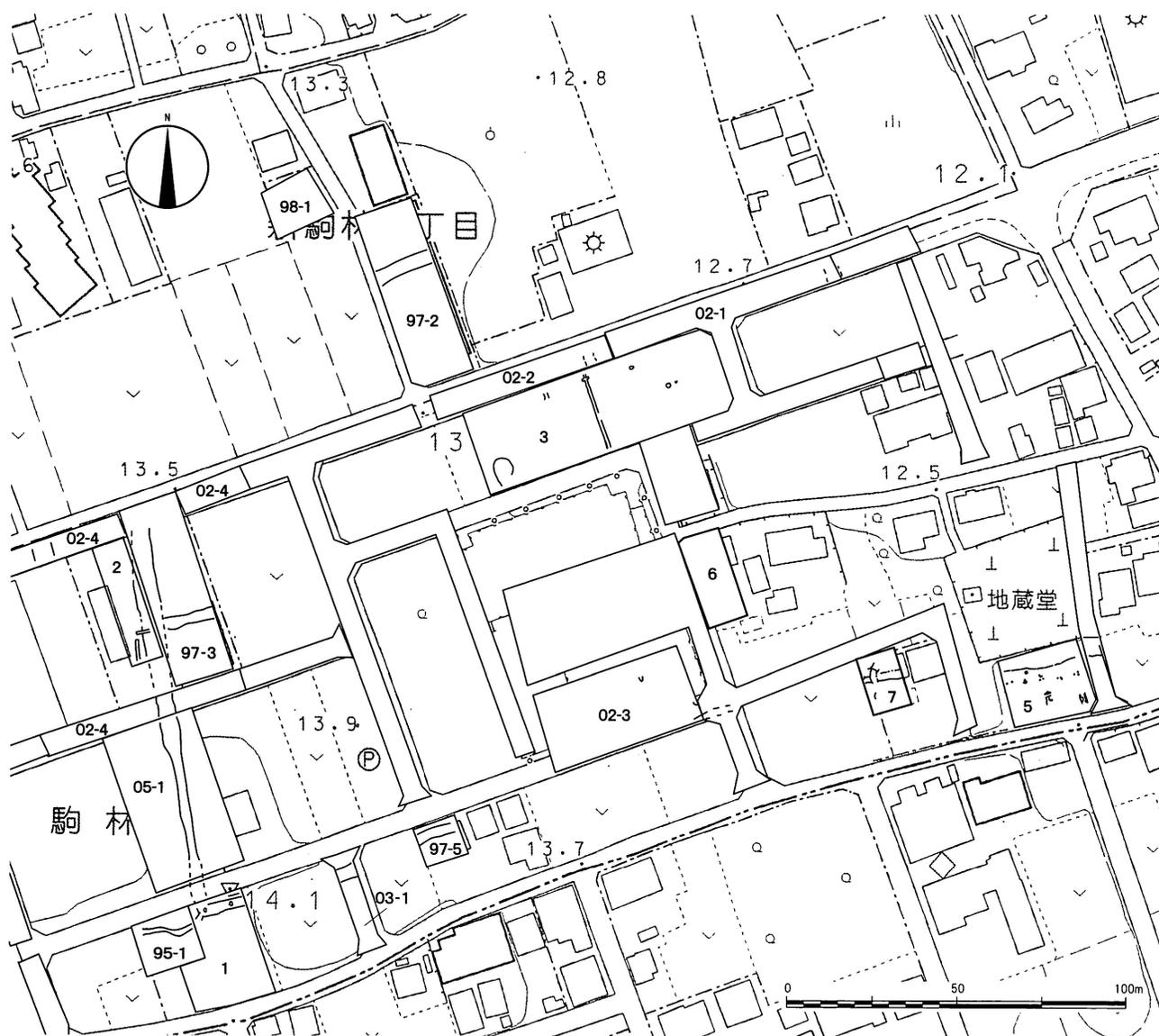
(第Ⅱ部第1章「駒林遺跡第5地点の本調査」参照)

Ⅲ 駒林遺跡第6地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年7月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡西側に立地するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

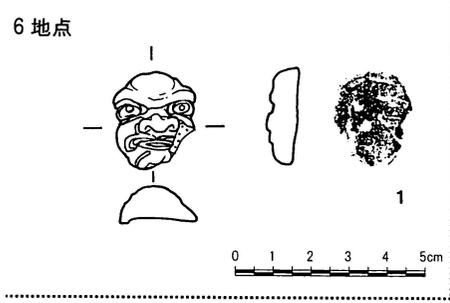
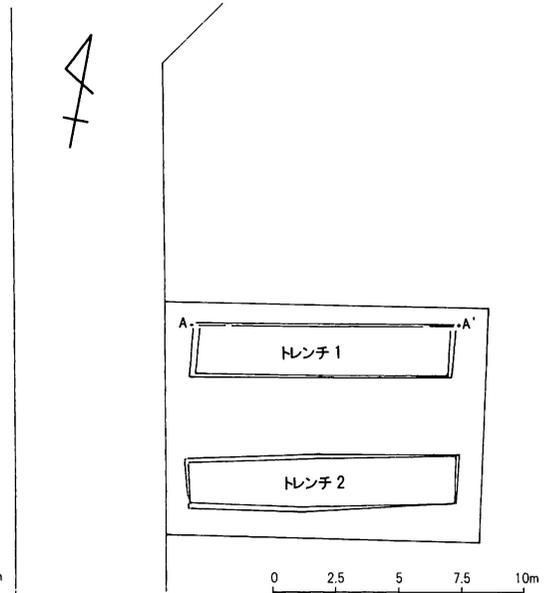
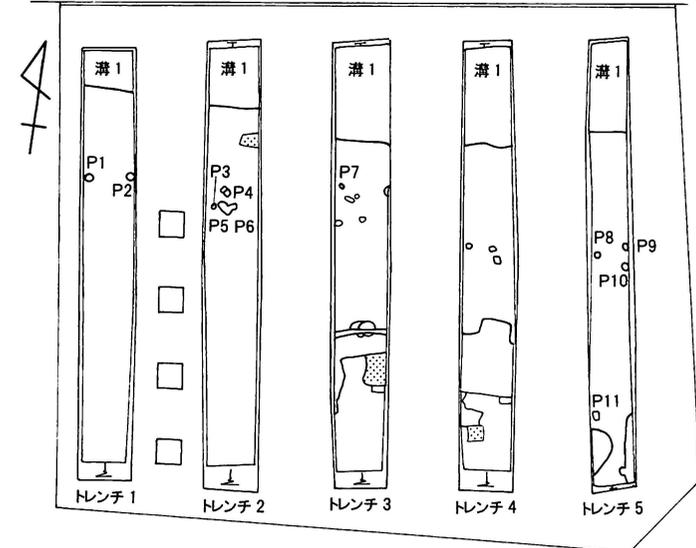
試掘調査は2008年8月27日に行なった。幅約2



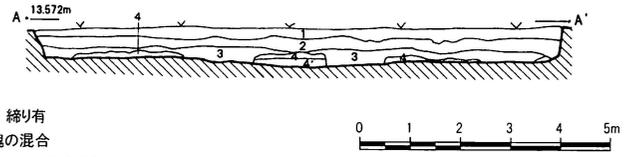
第91図 駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)

5 地点

6 地点



- 6 地点
- 1 盛土 ローム 硬く締る
 - 2 表土 耕作土 黒褐色土 締り有
 - 3 攪乱 黒褐色土とローム塊の混合
 - 4 ソフトローム 地山 黄褐色土 やや色は暗い
 - 4' 色は明るくなる



7 地点

溝 1 A-A'

1. 表土・耕作土 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む、灰色味がある
- II a. 地山 暗褐色土 締り有、粘性有、地山の漸移層、但し所々 5mm 以下ローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒わずかに含む、斑状に暗褐色土ブロックやや多く含む
2. 黒褐色土 硬化、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む、1mm 以下ローム粒が目立つ
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒わずかに含む、黒色味は強い
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム土を含み色調はやや明るい、3mm 以下ローム粒少し含む
7. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム土を含み色調は明るい、15mm 以下ロームブロックやや多く、5mm 以下ローム粒多く含む
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、斑状にソフトロームブロックをやや多く含む

B-B'

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、40mm 以下ロームブロック多く含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 大ロームブロック多く含む

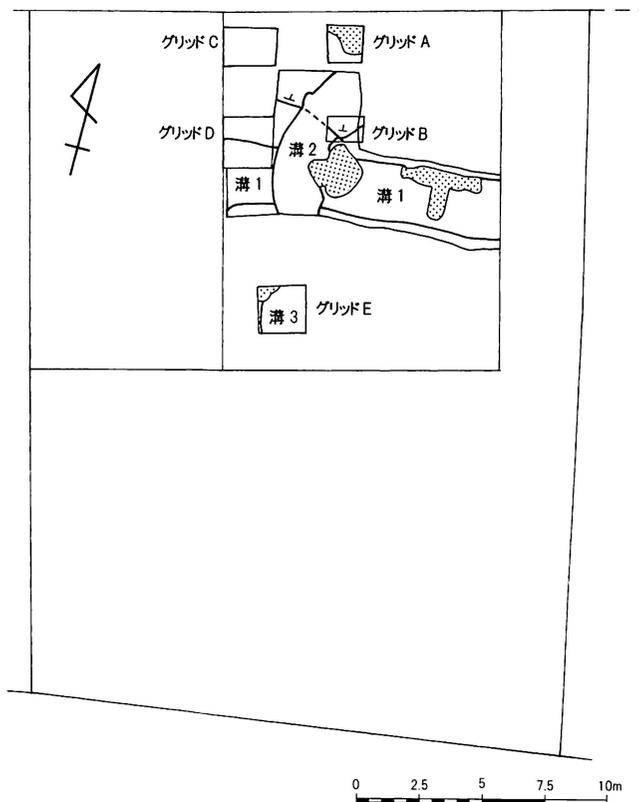
溝 2 C-C'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、上部に黒褐色土の薄層がのる、10mm 大ロームブロック、5mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5 ~ 40mm ロームブロック多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む、粘性の有るシルト質の土が混ざる
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
5. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む
6. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、5 ~ 10mm ロームブロック少し含む
7. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 ~ 40mm ロームブロック多く含む

溝 2 D-D'

III a. 黒褐色土混じり

1. 黄褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土ベース、ソフトロームブロック主体
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土ベース、暗褐色土(ソフト質漸移層土)ブロック主体
3. 暗褐色土 締り有、粘性有、5 ~ 60mm 以下ソフトロームブロック多く、15mm 以下黒褐色土ブロック少し含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、最大 60mm、平均 5 ~ 15mm、ロームブロックやや多く含む

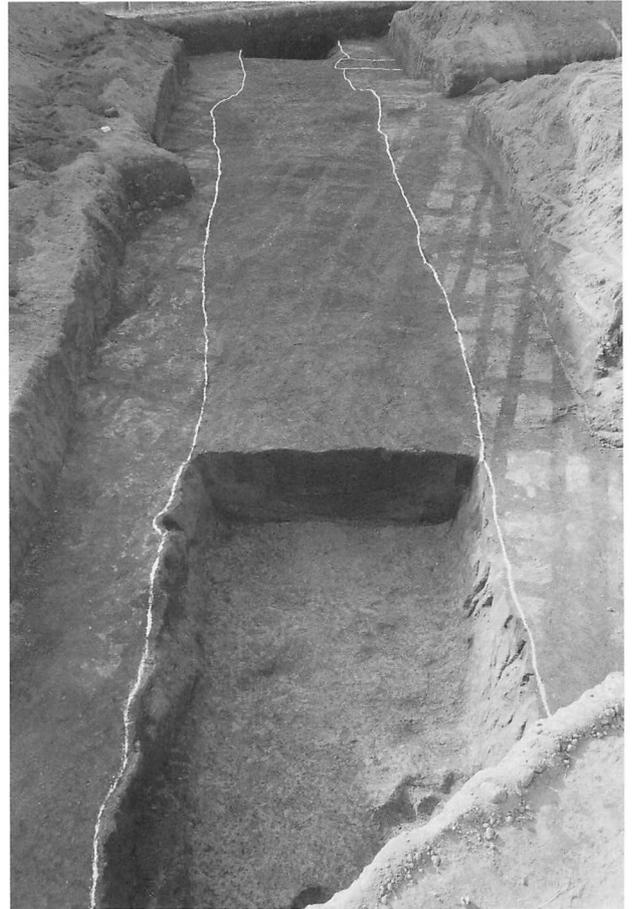


第 92 図 駒林遺跡第 5 ~ 7 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、出土遺物 (1/2)

亀久保堀遺跡第 31 地点、駒林遺跡第 5～7 地点 (1)



亀久保堀遺跡第 31 地点



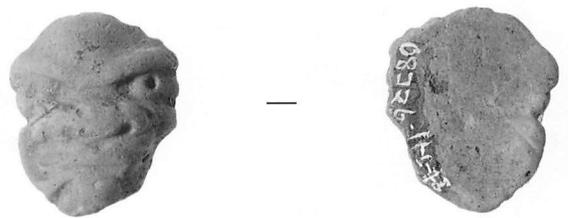
亀久保堀遺跡第 31 地点堀全景



駒林遺跡第 5 地点試掘調査



駒林遺跡第 6 地点全景



駒林遺跡第 6 地点出土遺物 No.1



駒林遺跡第 7 地点全景



駒林遺跡第 7 地点溝 1～3